

消 防 年 報

令 和 6 年 度 版



吾妻広域消防本部

(令和 7 年刊行)

はじめに

昭和48年4月に吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部として誕生し、52年を迎えました。

この間、関係各位並びに地域住民の方々の深いご理解と温かいご支援を頂き、施設の整備・消防力の強化充実につとめてまいりました。

しかしながら、最近における近代的な生活様式の著しい進展に伴い、発生する災害の様相は極めて複雑多様化し、その規模は大型化の傾向にあります。

また、救急の面においても、高度な技術を要求され、消防に寄せる期待はいよいよ大きなものがあります。

このような中、消防の任務であります地域住民の「生命・身体及び財産」を災害から守り明るく平和な地域を築くため、なお一層の努力をしてまいる所存であります。

この消防年報は、こうした消防本部の歩み、及び現況(予算統計関係は、会計年度とし、その他のものは表中の年月日とした)を収録し、消防事情を一般に紹介するために編集したものであり、皆様方にいささかでもお役にたてば幸いです。

令和7年9月

吾妻広域消防本部

目 次

一 般 概 況

吾妻広域町村圏の位置・・・・・・・・・・・・・・・・	4
吾妻郡の地勢及び自然条件・・・・・・・・・・	5
吾妻広域町村圏振興整備組合組織図・・・・・・・・	6
吾妻広域町村圏振興整備組合特別職の状況・・・・・・・・	7
吾妻広域町村圏振興整備組合歴代役職・・・・・・・・	7
沿 革・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2

総 務

令和 6 年度組合決算概要・・・・・・・・・・	2 6
消防機関の所在地・・・・・・・・・・	2 8
消防用車両配備調・・・・・・・・・・	3 0
消防職員教養研修調・・・・・・・・・・	3 1
機構図及び事務分掌・・・・・・・・・・	3 2
消防本部・署の職員数調及び在職年数調・・・・・・・・	3 3
年齢別及び階級別職員調・・・・・・・・・・	3 4
職員住所地別配置人員・・・・・・・・・・	3 6
消防職員 1 人に対する人口・世帯数の推移・・・・・・・・	3 6

予 防

町村別防火対象物の状況(令別表第 1 による区分)・・・・・・・・	3 7
消防用設備等の設置届検査件数(月別)・・・・・・・・	3 8
火災予防条例関係届出件数(月別)・・・・・・・・	3 8
月別建築同意件数・・・・・・・・・・	3 9
町村別建築同意件数・・・・・・・・・・	3 9
危険物施設の許認可等事務処理状況・・・・・・・・	4 0
数量別危険物施設数及び町村別危険物施設数・・・・・・・・	4 1

火 災

令和 6 年の火災概況(前年比較)・・・・・・・・	4 2
原因別火災発生状況・・・・・・・・・・	4 3
町村別火災発生状況・・・・・・・・・・	4 4
過去 5 年間の火災発生状況・・・・・・・・	4 6
月別火災発生状況・・・・・・・・・・	4 7
時間別火災発生状況・・・・・・・・・・	4 8
曜日別火災発生状況・・・・・・・・・・	4 9
町村消防水利調・・・・・・・・・・	5 0
火災予防運動標語一覧・・・・・・・・・・	5 1

救 助

令和6年救助概要・・・・・・・・・・・・・・・・	5 3
過去5年間の救助活動状況・・・・・・・・	5 4
令和6年消防防災ヘリコプター応援要請内容・・・・・・・・	5 5

救 急

令和6年救急業務実施概要(1月～12月)・・・・・・・・	5 6
町村別出場件数及び搬送人員・・・・・・・・	5 7
過去5年間の救急件数の推移・・・・・・・・	5 8
月別出場件数・・・・・・・・	5 9
曜日別出場件数・・・・・・・・	5 9
時間別出場件数・・・・・・・・	6 0
事故種別・年齢区分・傷病程度別搬送人員・・・・・・・・	6 1
傷病者の事故種別居住地別調・・・・・・・・	6 2
普通救命講習管轄別受講者数・救急医療情報サービス問い合わせ件数	6 3

通 信

指令管制施設(たかさき消防共同指令センター)・・・・・・・・	6 4
たかさき消防共同指令センター システム構成図	6 6
デジタル消防無線配置一覧表・・・・・・・・	6 7

消 防 団 ・ 消 防 関 係 団 体

消防団調(令和7年度)・・・・・・・・	6 8
幼年消防クラブ等結成状況・・・・・・・・	6 9

一般概況

吾妻広域町村圏の位置



吾妻郡の地勢及び自然条件

位置

吾妻郡は東京から 125km、群馬県の西北部に位置し、東は沼田市・みなかみ町及び渋川市、南は高崎市に接し、北と西は新潟県及び長野県と県境をなしています。特に沼田市及び長野県とは産業経済や文化等、幅広い住民交流があります。しかし、新潟県境は登山道以外の道路は無く、日常的な交流はあまり多くありません。

面積

圏域総面積は、1,278.55km²で、これは群馬県の総面積の 20.1%に当たる広大な面積を有していますが、その約 76%の 976.40km²が林野で、このうち 54.6%は国有林です。

地勢

周囲を山々に囲まれ、圏域内も山岳、丘陵が連なり、高原、盆地、河川がその間に点在し複雑な地勢ですが、温泉を始め自然条件に恵まれた上信越高原国立公園を擁する群馬県を代表する観光圏域です。しかし複雑な地勢が災いし交通網の状況が悪く、特に高速交通網から外れており、経済発展等圏域振興のあらゆる進展を妨げていることから、道路網の整備は大きな課題です。

また、三国山系の支系と大洞山系が接続して中央山系を形成しているので、東部ブロック(中之条町、東吾妻町、高山村の 2 町 1 村)と西部ブロック(長野原町、草津町、嬭恋村の 2 町 1 村)に分断され、歴史・文化・政治経済等に差異が見られます。

気候

圏域内の標高差が 800m(役場所在地比較)と大きく、従って気象条件も地域的にかなり異なっています。

年平均では、中之条町が 13.7℃、草津町 9.3℃であり、最高・最低気温は中之条町が 37.6℃(7 月)、氷点下 7.9℃(1 月)、草津町では 31.0℃(7 月)、氷点下 10.6℃(3 月)であり、西吾妻は特に冷涼な気候です。年間降水量は、中之条町で 1,323.0mm、草津町で 1,895.0mm です。また、特に西吾妻は積雪が多く、5ヶ所のスキー場があります。(2024 年 1 月～12 月気象庁統計情報より)

面積・人口・世帯数

令和 7 年 4 月 1 日

区分		種別	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)
圏域構成町村	中之条町		439.28	14,199	6,648
	長野原町		133.85	5,011	2,500
	嬭恋村		337.58	9,100	4,180
	草津町		49.75	6,045	3,576
	高山村		64.18	3,274	1,417
	東吾妻町		253.91	11,927	5,429
圏域合計			1,278.55	49,529	23,750

平成 18 年 3 月 27 日 吾妻町と東村が合併し、東吾妻町となる。
平成 22 年 3 月 28 日 中之条町と六合村が合併し、中之条町となる。

[illegible]

- (11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成１７年法律第１２３号）に規定する町村審査会に関する事務
- (12) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業のうち指定相談事業者への委託に関する事務
- (13) 消費生活センターの設置及び管理に関する事務
- (14) 介護保険法（平成９年法律第１２３号）の規定に基づく訪問介護及び介護予防訪問介護の事業に関する事務並びに特定施設入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護の事業に関する事務
- (15) 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（平成２３年法律第７９号）に規定する市町村障害者虐待防止センターの業務の委託に関する事務
- (16) 行政不服審査法（平成２６年法律第６８号）第８１条第１項の規定に基づき同法の規定によりその権限に属せられた事項を処理するための機関の設置及び運営に関する事務

吾妻広域町村圏振興整備組合特別職の状況

令和7年4月1日

特 別 職	人 員	説 明	備 考
理 事	6名	構成町村長のあて職	理事長 中之条町長 副理事長 草津町長
議 会 議 員	12名	構成町村正副議長のあて職	議長 長野原町議長 副議長 中之条町議長
会計管理者 (一般職)	1名	理事長所在町村の会計管理者	中之条町会計管理者
監 査 委 員	2名	議会議員1名、識見者1名	東吾妻町議会議長 中之条町監査委員

歴代理事長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	福 島 真 一	自 昭和47年 6月 1日 至 昭和59年 1月23日	中 之 条 町 長
二 代	宮 崎 太一郎	自 昭和59年 1月24日 至 平成 8年 1月23日	中 之 条 町 長
三 代	小 渕 光 平	自 平成 8年 1月24日 至 平成16年 1月23日	中 之 条 町 長
四 代	割 田 良 次	自 平成16年 2月 1日 至 平成18年 3月30日	高 山 村 長
五 代	入内島 道 隆	自 平成18年 3月31日 至 平成24年 1月23日	中 之 条 町 長
六 代	折 田 謙一郎	自 平成24年 1月30日 至 平成26年10月24日	中 之 条 町 長
七 代	伊 能 正 夫	自 平成27年 1月 6日 至 令和 4年11月29日	中 之 条 町 長
八 代	外 丸 茂 樹	自 令和 5年 1月 6日	中 之 条 町 長

歴代組合議長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	青 木 祐三郎	自 昭和47年 6月24日 至 昭和54年 4月14日	吾 妻 町 議 長
二 代	田 村 次 郎	自 昭和54年 6月11日 至 昭和55年 2月26日	草 津 町 議 長
三 代	大久保 上	自 昭和55年 2月27日 至 昭和56年 9月15日	嬭 恋 村 議 長
四 代	山 崎 猛 夫	自 昭和56年12月15日 至 昭和58年 4月29日	長 野 原 町 議 長
五 代	水 出 政治郎	自 昭和58年 7月11日 至 昭和62年 5月12日	吾 妻 町 議 長
六 代	割 田 良 次	自 昭和62年 6月10日 至 平成 1年12月21日	高 山 村 議 長
七 代	宮 崎 喜 吉	自 平成 1年12月25日 至 平成 2年 5月17日	嬭 恋 村 議 長
八 代	後 藤 三 郎	自 平成 2年 8月28日 至 平成 3年 4月30日	高 山 村 議 長
九 代	瀬 山 巖	自 平成 3年 6月17日 至 平成 7年 5月21日	中 之 条 町 議 長
十 代	小 池 則 行	自 平成 7年 6月12日 至 平成11年 5月21日	中 之 条 町 議 長
十一代	清 水 榮	自 平成11年 6月 7日 至 平成15年 5月21日	中 之 条 町 議 長
十二代	宮 崎 英 彌	自 平成15年 6月10日 至 平成19年 5月21日	中 之 条 町 議 長
十三代	生 須 秀 彦	自 平成19年 6月 4日 至 平成23年 5月21日	中 之 条 町 議 長
十四代	竹 内 良太郎	自 平成23年 6月 2日 至 平成26年 3月31日	長 野 原 町 議 長
十五代	平 形 富二夫	自 平成26年 5月17日 至 平成27年 4月30日	高 山 村 議 長
十六代	山 本 隆 雄	自 平成27年 6月23日 至 令和 5年 5月21日	中 之 条 町 議 長
十七代	黒 岩 巧	自 令和 5年 6月26日	長 野 原 町 議 長

歴代消防長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	加 部 六 郎	自 昭和48年 4月 1日 至 昭和54年 4月30日	逝 去
二 代	片 山 武 志	自 昭和54年 5月 1日 至 平成 2年 3月31日	逝 去
三 代	加 藤 三 郎	自 平成 2年 4月 1日 至 平成 6年11月30日	
四 代	里 見 福 三	自 平成 6年12月 1日 至 平成10年 3月31日	逝 去
五 代	湯 本 茂	自 平成10年 4月 1日 至 平成14年 3月31日	
六 代	森 田 友 之	自 平成14年 4月 1日 至 平成16年 3月31日	逝 去
七 代	浅 見 昭 二	自 平成16年 4月 1日 至 平成21年 3月31日	
八 代	田 村 二 男	自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日	
九 代	横 尾 康 高	自 平成22年 4月 1日 至 平成26年 3月31日	
十 代	湯 本 茂	自 平成26年 4月 1日 至 平成29年 3月31日	
十一代	上 原 裕 之	自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日	
十二代	小 池 信 行	自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日	
十三代	山 田 圭 一	自 平成31年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日	
十四代	関 亨	自 令和 4年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日	
十五代	野 上 育	自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日	
十六代	富 澤 英 成	自 令和 7年 4月 1日	

歴代東部消防署長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	加 藤 三 郎	自 昭和48年 4月 1日 至 平成 2年 3月31日	
二 代	水 出 進	自 平成 2年 4月 1日 至 平成 6年11月30日	逝 去
三 代	森 田 友 之	自 平成 6年12月 1日 至 平成10年 3月31日	逝 去
四 代	塚 田 洋 征	自 平成10年 4月 1日 至 平成14年 3月31日	逝 去
五 代	戸 塚 勇	自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日	
六 代	浅 見 昭 二	自 平成15年 4月 1日 至 平成16年 3月31日	
七 代	小 林 秀 一	自 平成16年 4月 1日 至 平成21年 3月31日	
八 代	横 尾 康 高	自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日	
九 代	蜂須賀 義 夫	自 平成22年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	
十 代	高 橋 武 男	自 平成24年 4月 1日 至 平成26年 3月31日	
十一代	梅 澤 孝 夫	自 平成26年 4月 1日 至 平成28年 3月31日	
十二代	霜 田 春 二	自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日	
十三代	本 多 勉	自 平成29年 4月 1日 至 平成31年 3月31日	
十四代	小 池 賢 一 郎	自 平成31年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日	
十五代	齋 藤 和 彦	自 令和 4年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日	
十六代	山 田 雄 一 朗	自 令和 7年 4月 1日	

歴代西部消防署長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	石 田 忠	自 昭和48年 4月 1日 至 昭和59年 3月31日	逝 去
二 代	金 井 嶸	自 昭和59年 4月 1日 至 平成 1年 3月31日	
三 代	中 沢 三 郎	自 平成 1年 4月 1日 至 平成 6年11月30日	逝 去
四 代	森 田 栄 一	自 平成 6年12月 1日 至 平成 9年 3月31日	
五 代	中 澤 幸 丸	自 平成 9年 4月 1日 至 平成13年 3月31日	
六 代	黒 岩 三 男	自 平成13年 4月 1日 至 平成19年 3月31日	
七 代	米 敬	自 平成19年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	
八 代	金 子 守	自 平成24年 4月 1日 至 平成26年 3月31日	
九 代	霜 田 春 二	自 平成26年 4月 1日 至 平成28年 3月31日	
十 代	中曾根 安 雄	自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日	
十一代	湯 本 完 司	自 平成29年 4月 1日 至 平成31年 3月31日	
十二代	齋 藤 和 彦	自 平成31年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日	
十三代	富 澤 英 成	自 令和 4年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日	
十四代	宮 下 裕 之	自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日	
十五代	林 誠	自 令和 7年 4月 1日	

沿革

昭和48.	4.	1	吾妻広域町村圏振興整備組合1消防本部・2消防署を設置、普通消防ポンプ自動車2台、救急車3台、指令車1台、総員37名をもって発足。
48.	4.20		消防職員1名採用、総員38名となる。
48.	6.	1	消防職員11名採用、総員49名となる。
48.	7.23		指令車1台購入消防本部に設置。
48.	7.26		群馬県共済農業協同組合連合会により救急車(ニッサンキャラバン)1台を寄贈される。
48.12.	4		水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)2台を購入。東部消防署、西部消防署に各1台配置。

昭和49.	4.	1	消防本部と東部消防署の庁舎を新設、新庁舎に業務移転。 消防職員2名採用、総員51名となる。
49.	5.	1	消防職員5名採用、総員56名となる。
49.	7.	1	消防職員1名採用、総員57名となる。 長野原分署発足、救急車1台を配置、分署長以下9名で救急業務の充実をはかる。
49.	9.28		普通消防ポンプ自動車(ニッサン)3台を購入。
49.10.	1		消防職員4名採用、総員61名となる。
50.	2.	5	長野原分署庁舎を新築、新庁舎に業務移転、普通消防ポンプ自動車1台救急車1台配置。

昭和50.	9.20		消防職員9名採用。総員70名となる。
50.10.	7		屈折はしご付消防ポンプ自動車(三菱ふそう)1台、普通消防ポンプ自動車(ニッサン)1台購入。
50.12.11			群馬県共済農業協同組合連合会より救急車(ニッサン)1台を寄贈される。
51.	1.	1	消防職員5名採用、総員75名となる。
51.	2.	1	消防職員1名採用、総員76名となる。
51.	2.10		嬭恋分署開署、普通消防ポンプ自動車(ニッサン)1台、救急車(ニッサン)1台を配置、分署長以下12名で発足。(救急車は仮配置)
51.	3.11		連絡車(スズキ)1台を購入、嬭恋分署に配置。日本損害保険協会より救急車(ニッサンキャラバン)1台を寄贈され、嬭恋分署に配置。
51.	3.26		救急車(ニッサンキャラバン)1台を購入、東部消防署に配置。

昭和51.	4.	1	消防職員4名採用、総員80名となる。
51.	4.10		中之条分署開署、普通消防ポンプ自動車(ニッサン)1台、救急車(ニッサン)1台を配置、分署長以下13名で発足。
51.	8.31		消防職員1名退職、総員79名となる。
52.	1.25		連絡車(スズキ)3台を購入、消防本部、中之条分署、長野原分署に配置。
52.	3.30		救助工作車(三菱キャンター)1台を購入、東部消防署に配置。

昭和 52.	4.	1	消防職員 2 名採用、総員 81 名となる。
53.	3.15		救助工作車(トヨタランドクルーザー)1 台を購入、西部消防署に配置。
昭和 53.	9.20		救急車(トヨタハイエース 2B)1 台渋川交通災害共済組合より寄贈され東部消防署に配置。
53.11.21			普通消防ポンプ自動車(ニッサン)1 台を購入、西部消防署に配置(既配置の普通消防ポンプ自動車 1 台予備車に編入)
54.	3.30		指令車(トヨタクラウンバン)1 台購入、西部消防署に配置(既配置の指令車廃車)
54.	3.31		消防職員 1 名退職、総員 80 名となる。
昭和 54.	4.	1	消防職員 1 名採用、総員 81 名となる。
54.	4.30		消防職員 1 名退職、総員 80 名となる。
54.	5.11		指令車(トヨタクラウン)1 台購入、消防本部に配置(既配置の指令車廃車)
昭和 55.	4.	1	消防職員 1 名採用、総員 81 名となる。
55.	5.	6	救急車(ニッサンキャラバン)1 台、群馬県共済農業協同組合連合会より寄贈、長野原分署に配置。
55.	8.31		消防職員 1 名退職、総員 80 名となる。
55.12.22			連絡車(トヨタコロナバン)2 台購入、消防本部、嬭恋分署に各 1 台配置。(嬭恋分署に既配置の連絡車廃車)
昭和 56.	4.	1	消防職員 1 名採用、総員 81 名となる。
56.12.9			連絡車(トヨタコロナバン)2 台購入、中之条分署、長野原分署に各 1 台配置。 消防本部に既配置の連絡車(スズキ)廃車。 中之条分署に既配置の連絡車(スズキ)東部消防署に配置換。 長野原分署に既配置の連絡車(スズキ)西部消防署に配置換。
57.	3.19		東部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)西部消防署に配置換。
57.	3.31		消防職員 1 名退職、総員 80 名となる。
昭和 57.	4.	1	消防職員 2 名採用、総員 82 名となる。
57.11.26			救急車(ニッサンキャラバン)1 台日本自動車工業会より寄贈され嬭恋分署に配置。
57.12.1			嬭恋分署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)東部消防署に配置換。
昭和 58.	4.	1	消防職員 1 名採用、総員 83 名となる。
58.	9.14		東部消防署に既配置の救急車(フォルクスワーゲン)廃車。
58.10.26			救急車(ニッサンホーミー)1 台を東京都江東区亀戸(株)玉原製作所 玉原滋人・富貴子夫婦より寄贈され西部消防署に配置。

			西部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン) 東部消防署に配置換。
58.12.23			連絡車(トヨタコロナバン)1 台購入、東部消防署に配置。(既配置の連絡車廃車)
59.2.24			東部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン) 廃車。
59.3.31			消防職員 1 名退職、総員 82 名となる。
昭和59.4.1			消防職員 1 名採用、総員 83 名となる。
59.4.24			救急車(トヨタハイエース)1 台購入、中之条分署に配置。
			中之条分署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン) 東部消防署に配置換。
			東部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン) 廃車。
59.8.17			消防職員 1 名退職、総員 82 名となる。
59.10.1			消防職員 2 名採用、総員 84 名となる。
59.11.12			水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)1 台購入、東部消防署に配置。
60.2.15			消防職員 1 名退職、総員 83 名となる。
昭和60.4.1			消防職員 1 名採用、総員 84 名となる。
60.4.30			資機材運搬車(ホンダアクティ)1 台購入、消防本部に配置。
60.8.23			東部消防署に既配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ) 中之条分署に配置換。
60.11.22			防火広報車(ニッサンキャラバン)1 台、日本防火協会より寄贈、消防本部に配置。
60.11.25			普通消防ポンプ自動車(いすゞ)1 台購入、長野原分署に配置。
			長野原分署に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン) 消防本部に配置換(予備車に編入)。
			消防本部に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン) 廃車。
60.12.10			東部消防署及び西部消防署に基地局第 2 装置(県内共通派)を設置。
			西部消防署基地局空中線電力(5W を 10W に)増力。
61.1.31			消防職員 2 名退職、総員 82 名となる。
61.3.22			救急車(ニッサンキャラバン)1 台、群馬県農協福祉基金より寄贈、東部消防署に配置。
			東部消防署に配置の救急車(ニッサンキャラバン) 廃車。
昭和61.4.1			消防職員 1 名採用、総員 83 名となる。
61.7.30			救急車(ニッサンキャラバン)1 台、日本消防協会より寄贈、長野原分署に配置。
61.8.2			長野原分署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン) 西部消防署に配置換。
			西部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン) 廃車。
61.11.21			水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)1 台購入、西部消防署に配置。
61.12.3			西部消防署に既配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ) 嬭恋分署へ配置換。
62.2.5			指令車(スバルレオーネ)1 台購入、西部消防署に配置、既配置の指令車廃車。

昭和 6 2. 4. 1 消防職員 2 名採用、総員 85 名となる。

6 2. 1 1. 2 8 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)1 台購入、中之条分署に配置、既配置の水槽付消防ポンプ自動車廃車。

6 3. 2. 1 中之条分署に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)消防本部に配置換(予備車に編入)。消防本部に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)廃車。

6 3. 3. 3 1 消防職員 1 名退職、総員 84 名となる。

昭和 6 3. 4. 1 消防職員 1 名採用、総員 85 名となる。

6 3. 6. 1 7 連絡車(ホンダアクティバン)1 台購入、西部消防署に配置、既配置の連絡車(スズキ)廃車。

6 3. 1 2. 5 嬭恋分署に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)廃車。

6 3. 1 2. 1 2 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)1 台購入、嬭恋分署に配置、既配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)廃車。

6 3. 1 2. 2 7 救急車(トヨタハイエース)1 台、日本損害保険協会より寄贈、嬭恋分署に配置、既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。

平成 元. 3. 3 1 消防職員 2 名退職、総員 83 名となる。

平成 元. 4. 1 消防職員 1 名採用、総員 84 名となる。

元. 1 1. 2 7 救助工作車(いすゞフォワード)1 台購入、東部消防署に配置、既配置の救助工作車(三菱キャンター)廃車。

元. 1 2. 2 2 救急車(トヨタハイエース)1 台購入、西部消防署に配置、既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。

2. 3. 3 1 消防職員 1 名退職、総員 83 名となる。

平成 2. 4. 1 消防職員 2 名採用、総員 85 名となる。

2. 6. 3 0 消防職員 1 名退職、総員 84 名となる。

2. 1 1. 2 6 普通消防ポンプ自動車(いすゞ)1 台購入、東部消防署に配置、既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)廃車。

3. 3. 2 6 指令車(トヨタクラウン)1 台購入、消防本部に配置、既配置の指令車(トヨタクラウン)廃車。

平成 3. 4. 1 消防職員 1 名採用、総員 85 名となる。

3. 1 1. 5 連絡車(トヨタカリブ)2 台購入、消防本部、嬭恋分署に各 1 台配置、既配置連絡車(トヨタコロナバン)2 台廃車。

4. 1. 2 1 救急車(ニッサンキャラバン)1 台、日本自動車工業会より寄贈、東部消防署に配置、既配置救急車(トヨタハイエース)廃車。

4. 2. 2 8 救助工作車(いすゞ)1 台購入、西部消防署に配置、既配置の救助工作車(トヨタランドクルーザー)嬭恋分署に配置換。

平成 4. 4. 1 消防職員定数 100 名となる。

4. 8. 5 救急車(トヨタハイエース)1 台、日本消防協会より寄贈、嬭恋分署に配置。

5. 1. 1 1 連絡車(トヨタカリブ)1 台購入、中之条分署に配置、既配置の連絡車(トヨタコロナバン)廃車。

5. 3. 2 4 救急車(ニッサンキャラバン)1 台購入。長野原分署に配置、既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。

5. 3. 3 1 消防職員 2 名退職、総員 83 名となる。

平成 5. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 88 名となる。

5. 1 1. 2 9 救急車(ニッサンキャラバン)2 台購入、中之条分署、嬭恋分署に各 1 台配置、中之条分署既配置の救急車(トヨタハイエース)廃車。
嬭恋分署、救急車(トヨタハイエース)を西部消防署に配置換、救急車(ニッサンホーミー)西部消防署、廃車。

5. 1 2. 5 指令車(トヨタカリブ)1 台購入、西部消防署に配置、既配置の指令車(スバルレオーネ)廃車。

6. 2. 2 1 東部消防署に救急車載プロパック購入。

6. 2. 2 8 消防職員 1 名退職、総員 87 名となる。

6. 3. 2 5 中之条分署、無線基地局更新。

平成 6. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 92 名となる。

6. 1 1. 1 1 救急救命士(登録番号 07367 号)誕生。

6. 1 1. 2 5 西部消防署長野原分署待機室増床工事(14.08 m²増床)。

6. 1 1. 2 8 西部消防署長野原分署に連絡車(トヨタカリブ)1 台購入配置、既配置連絡車(トヨタコロナバン)廃車。

6. 1 1. 3 0 西部消防署に救急車載プロパック購入。

6. 1 2. 2 1 西部消防署長野原分署に水槽付消防ポンプ自動車、1 台購入配置、既配置普通消防ポンプ自動車(いすゞエルフ)、西部消防署に配置換、西部消防署配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサンパトロール)廃車。

7. 3. 8 消防本部に蘇生訓練用生体シミュレーター購入。

7. 3. 1 3 西部消防署嬭恋分署既配置の救助工作車(トヨタランドクルーザー)廃車。

平成 7. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 97 名となる。

7. 5. 1 0 消防職員 1 名退職、総員 96 名となる。

7. 7. 1 消防職員 1 名退職、総員 95 名となる。

7. 1 2. 1 嬭恋分署に救急車載プロパック購入。

7. 1 2. 8 東部消防署に高圧ガス充填室完成運用開始。

8. 1. 2 5 長野原分署無線基地局更新。

8. 3. 1 5 長野原分署に救急車載プロパック購入。

8. 3. 2 2 西部消防署に 20m 級屈折はしご付消防ポンプ自動車(ヒノレンジャー)を購入配置。

8. 3. 3 1 消防職員 2 名退職、総員 93 名となる。

平成	8.	4.	1	消防職員 5 名採用、総員 98 名となる。
	8.	5.	7	救急救命士(登録番号 09864 号)誕生。
	8.	7.	4	消防本部に連絡車(ダイハツハイゼット)購入配置。
	8.10.	30	～ 8.11.	1
				第 43 回全国消防長会組合消防委員会が開かれる(会場：草津町)。
	9.	1.	24	東部消防署に指令車(ニッサンADバン)購入配置。 車載無線機(NEC:TR3MID-18AT)
	9.	3.	12	中之条分署に救急車載プロバック購入。
	9.	3.	31	消防職員 3 名退職、総員 95 名となる。
平成	9.	4.	1	消防職員定数 105 名となる。 消防職員 5 名採用、総員 100 名となる。
	9.	5.	1	救急救命士(登録番号 11715 号)誕生。
	9.	6.	30	消防職員 2 名退職、総員 98 名となる。
	9.	7.	1	消防職員 1 名採用、総員 99 名となる。
	9.11.	1.	1	西部消防署消毒室運用開始。
	10.	1.	28	西部消防署に高規格救急車(トヨタハイメディック)購入配置。 車載無線機(NEC:TR3MID-18AT) 既配置救急車(トヨタハイエース)東部消防署に配置換、東部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
	10.	3.	31	消防職員 3 名退職、総員 96 名となる。
平成 10.	4.	1	1	消防職員 5 名採用、総員 101 名となる。
	10.	4.	16	群馬県防災航空隊及び山林火災資機材取扱い訓練、東部 4 町村消防団。 吾妻町総合グラウンドで実施。
	10.	4.	23	群馬県防災航空隊及び山林火災資機材取扱い訓練、西部 4 町村消防団。 嬬恋村総合グラウンドで実施。
	10.	4.	30	消防職員 1 名退職、総員 100 名となる。
	10.	5.	8	救急救命士(登録番号 13625 号)誕生。
	10.	7.	7	資機材搬送車(ホンダアクティ)購入。 既配置の資機材搬送車(ホンダアクティ)廃車。 車載無線機(NEC:TR3MID-18AT)
	11.	3.	18	東部消防署消毒室運用開始。
	11.	3.	23	救急車(トヨタハイエース)1 台日本消防協会より寄贈、嬬恋分署に配置。 車載無線機(NEC:TR3MID-18AT) 既配置の救急車(ニッサンキャラバン)西部消防署に配置換。 西部消防署既配置の救急車(トヨタハイエース)東部消防署に配置換。 東部消防署既配置の救急車(トヨタハイエース)廃車。
	11.	3.	29	岳南広域、岳北広域、吾妻消防本部相互応援協定調印。
	11.	3.	31	消防職員 1 名退職、総員 99 名となる。

平成 11. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 102 名となる。

11. 5. 10 群馬県防災航空隊、東部 4 町村消防団との総合合同訓練を実施。
東村総合運動場。

11. 5. 11 救急救命士(登録番号 15657 号)誕生。

11. 5. 14 群馬県防災航空隊、西部 4 町村消防団との総合合同訓練を実施。
草津町営第 5 駐車場。

11. 10. 28 岳南広域、岳北広域、吾妻消防本部相互応援合同訓練(野反湖)。

12. 2. 14 東部消防署に水槽付消防ポンプ自動車(ミツビシファイター)購入配置。
車載無線機(NEC:TR3MID-8AT)

12. 2. 18 (財)日本消防協会海外消防車両援助事業に水槽付消防ポンプ自動車(1 台)
を寄贈登録する。(平成 12.6 コロンビア共和国に寄贈される。)

12. 3. 9 中之条・長野原・嬭恋分署の消毒室運用開始。

12. 3. 31 消防職員 2 名退職、総員 100 名となる。

平成 12. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 103 名となる。

12. 5. 10 群馬県防災航空隊及び山林火災資機材取扱い訓練、東部 4 町村消防団。
中之条町民運動場で実施。

12. 5. 11 救急救命士(登録番号 17663 号)誕生。

12. 6. 28 人員搬送車(トヨタハイエース)購入。

12. 8. 8 岳南広域、岳北広域、吾妻消防本部相互応援合同訓練(長野県栄村)。

12. 10. 5 ~ 12. 10. 6
第 19 回全国消防長組合消防委員会中ブロック委員会が開かれる
(会場:草津町)。

12. 12. 15 救急車(トヨタハイエース)長野原分署購入配置。
既配置救急車(ニッサンキャラバン)西部消防署に配置換。
既配置救急車(ニッサンキャラバン)東部消防署に配置換、東部消防署に既
配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。

13. 3. 16 万座温泉スキー場救急搬送訓練。

13. 3. 31 消防職員 2 名退職、総員 101 名となる。

平成 13. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 105 名となる。

13. 5. 7 救急救命士(登録番号 19554 号)誕生。

13. 9. 26 救急車(トヨタハイエース)中之条分署購入配置。
既配置救急車(ニッサンキャラバン)東部消防署に配置換、東部消防署に
既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。

13. 12. 13 高規格救急車(トヨタハイメディック)東部消防署に購入配置。
既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。

14. 3. 1 群馬県防災航空隊、草津町との合同遭難救助訓練(草津町)。

14. 3. 31 消防職員 2 名退職、総員 103 名となる。

- 平成14. 4. 1 消防職員2名採用、総員105名となる。
14. 4.30 救急救命士（登録番号21281号）誕生。
14. 7.26 既廃車救急車（ニッサンキャラバン）指揮車へ改造登録。
指揮車消防本部へ配置。
15. 3.11～15. 3.12
第10回全国消防長会組合消防委員会関東支部委員会が開かれる。
（会場：中之条町）
15. 3.20 災害対応水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）西部消防署購入配置。
既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）東部消防署に配置換。
15. 3.31 消防職員2名退職、総員103名となる。
-

- 平成15. 4. 1 消防職員2名採用、総員105名となる。
15. 4.23 救急救命士（登録番号23152号）誕生。
15.11. 7 予防査察車（ニッサンエクストレイル）本部へ購入配置。
15.12. 1 高規格救急車（トヨタハイメディック）西部消防署購入配置。
既配置救急車（ニッサンキャラバン）廃車。
16. 3. 5 高規格救急車（トヨタ）西部消防署から嬭恋分署に配置換。
救急車（トヨタハイエース）嬭恋分署から西部消防署に配置換。
16. 3.31 消防職員2名退職、総員103名となる。
-

- 平成16. 4. 1 消防職員2名採用、総員105名となる。
16. 5. 6 救急救命士（登録番号25417号）誕生。
16. 7.14 新潟・福島豪雨災害に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から
消火隊1隊及び後方支援隊1隊が出場する。
16. 9. 1 浅間山噴火。対策本部を設置する。
16. 9.30 消防職員1名退職、総員104名となる。
16.10.24 新潟県中越地震に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から消火隊
1隊及び後方支援隊1隊が出場する。
16.11.30 救急救命士（登録番号27204号）誕生。
17. 1.31 高規格救急車（トヨタハイメディック）嬭恋分署購入配置。
高規格救急車（トヨタハイメディック）嬭恋分署から東部消防署に配置換。
既配置救急車（ニッサンキャラバン）廃車。
17. 3.31 消防職員1名退職、総員103名となる。
-

- 平成17. 4. 1 消防職員3名採用、総員106名となる。
17. 5. 2 救急救命士（登録番号27707号）誕生。
17. 5. 6 指令車（トヨタボクシー）嬭恋分署購入配置。
既配置指令車（トヨタカリブ）廃車。
17.11.10 救急救命士（登録番号29089号）誕生。
18. 2.27 災害対応水槽付消防ポンプ自動車（ヒノレンジャー）中之条分署購入配置。
既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）中之条分署から東部

消防署に配置換。

既配置水槽付消防ポンプ自動車(いすゞフォワード)廃車。

18. 3.27 吾妻町と東村が合併し、東吾妻町となる。

平成18. 4. 1 消防職員3名採用、総員109名となる。

18. 5. 1 救急救命士(登録番号29946号)誕生。

18. 9.28～18. 9.29

第10回群馬県緊急消防援助隊合同訓練開催(会場:東吾妻町総合運動場)。

18.12.12 災害対応高規格救急車(トヨタハイメディック)中之条分署購入配置。

既配置救急車(トヨタ2B)中之条分署から西部消防署へ配置換。

西部消防署既配置救急車(トヨタハイエース)廃車。

19. 3.31 消防職員5名退職、総員104名となる。

平成19. 4. 1 消防職員2名採用、総員106名となる。

19. 4.19 既廃車救急車(トヨタハイエース)指揮車へ改造登録。

指揮車東部消防署へ配置。

既配置指令車(ニッサンADバン)西部消防署へ配置換。

西部消防署既配置指令車(トヨタカリブ)消防本部へ広報車として配置換。

19. 5.10 救急救命士(登録番号32190号)、(登録番号32195号)誕生。

19. 9.20 消防職員1名退職、総員105名となる。

19.12.11 消防本部既配置広報車(トヨタカリブ)廃車。

20. 3.31 消防職員1名退職、総員104名となる。

平成20. 4. 1 消防職員3名採用、総員107名となる。

20. 4.28 救急救命士(登録番号34195号)、(登録番号34228号)誕生。

21. 3.31 消防職員4名退職、総員103名となる。

平成21. 4. 1 消防職員3名採用、総員106名となる。

22. 3. 8 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車嬭恋分署購入配置。

既配置水槽付消防ポンプ自動車(いすゞフォワード)廃車。

22. 3.28 中之条町と六合村が合併し、中之条町となる。

22. 3.31 消防職員4名退職、総員102名となる。

平成22. 4. 1 農業共済職員2名異動、総員104名となる。

22. 5. 1 臨時職員1名採用。

22.12.31 消防職員1名退職、総員103名となる。

23. 3. 4 高規格救急車(トヨタハイメディック)長野原分署購入配置。

既配置救急車(トヨタ2B)長野原分署から消防本部(予備車)へ配置換。

23. 3.12 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第1次派遣隊～第7次派遣隊：3月12日～4月3日)

23. 3.31 消防職員4名退職、総員99名となる。

平成23. 4. 1 農業共済職員1名異動、消防職員6名採用、総員106名となる。

23. 4. 2 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第8次派遣隊～第9次派遣隊：4月2日～4月8日)

23. 4.11 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第11次派遣隊：4月11日～4月14日)

23. 4.20 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第14次派遣隊：4月20日～4月23日)

23. 5.11 救急救命士（登録番号40692号）誕生。

23. 5.26 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第18次派遣隊：5月26日～5月29日)

23.11.14 資機材搬送車（ニッサンアトラス）東部消防署購入配置。

既配置資機材搬送車（ホンダアクティ）東部消防署から老人ホームへ配置換。

既配置資機材搬送車（ニッサンキャラバン）廃車。

24. 3.31 消防職員6名退職、総員100名となる。

平成24. 4. 1 農業共済職員1名異動、消防職員7名採用（救急救命士1名含む）、総員108名（事務職員1名含む）となる。

24. 5. 9 救急救命士（登録番号43132号）、（登録番号43135号）誕生。

24.12.10 救助工作車（ヒノレンジャー）東部消防署購入配置。

既配置救助工作車（いすゞフォワード）廃車。

25. 1.11 消防救急デジタル無線移動局（共通波）免許交付。

25. 2.20 水槽付消防ポンプ自動車（ヒノレンジャー）長野原分署購入配置。

既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）長野原分署から東部消防署に配置換。

東部消防署既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）廃車。

25. 3.31 消防職員3名退職、総員105名となる。

平成25. 4. 1 消防職員5名採用、総員110名（事務職員1名含む）となる。

25. 5. 2 救急救命士（登録番号45227号）誕生。

25. 7.16 公用車（トヨタハイエース）吾妻養護老人ホームから消防本部に配置換。

25.11.11 高規格救急車（トヨタハイメディック）嬬恋分署購入配置。

26. 2. 5 既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）嬬恋分署から東部消防署に配置換。

26. 3.10 消防救急デジタル無線移動局（活動波）免許交付。
消防救急デジタル無線長野原基地局（共通波・活動波）免許交付。
26. 3.31 消防職員7名退職、総員103名となる。
-

- 平成26. 4. 1 消防職員定数120名となる。
消防職員7名採用、総員110名（事務職員1名含む）となる。
26. 4.15 既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）東部消防署から西部消防署に配置換。
既配置救急車（トヨタ2B）西部消防署から消防本部に配置換。
26. 5.12 救急救命士（登録番号48202号）（登録番号48163号）（登録番号48164号）（登録番号48172号）誕生。
26. 6.20 東部消防署既配置救急車（トヨタ2B）一般社団法人日本外交協会へ譲渡。
26. 8.20 西部消防署庁舎新築工事着工。
26. 9.18 消防職員1名退職、総員109名となる。
- 26.11.26 連絡車（スズキエブリイワゴン）西部消防署購入配置。
既配置連絡車（スズキキャリー）廃車。
- 26.12.14 既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）東部消防署から西部消防署に配置換。
西部消防署既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）廃車。
27. 1.20 高規格救急車（ニッサンパラメディック）東部消防署購入配置。
27. 3.31 消防職員2名退職、総員107名となる。
-

- 平成27. 4. 1 消防職員8名採用、総員115名（事務職員1名含む）となる。
指揮隊運用開始。
たかさき消防共同指令センター運用開始に伴う「高崎市・安中市消防組合ほか5一部事務組合消防指令事務協議会」を設置。
27. 6. 2 救急救命士（登録番号51064号）（登録番号51065号）誕生。
27. 6.23 消防職員1名退職、総員114名となる。
27. 9.12 関東・東北豪雨災害に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から消火小隊1隊及び後支援隊1隊が出動する。
- 27.10.10 西部消防署新庁舎竣工式。
- 27.10.15 西部消防署移転業務開始。
- 27.10.31 消防職員1名退職、総員113名となる。
- 27.11. 5 広報連絡車（ニッサンADバン）中之条分署購入配置。
- 27.12. 2 119番回線をたかさき消防共同指令センターへ切換完了（仮運用）。
- 27.12.11 指揮車（トヨタハイエース）東部消防署購入配置。
- 27.12.31 消防職員1名退職、総員112名となる。
28. 1.12 既配置指揮車（トヨタハイエース）東部消防署から西部消防署に配置換。
28. 2.25 高規格救急車（トヨタハイメディック）西部消防署購入配置。
28. 3. 7 既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）西部消防署から消防本部

に配置換。

28. 3.31 消防職員3名退職、総員109名となる。

平成28. 4. 1 消防職員8名、再任用職員1名採用、総員118名（事務職員1名含む）となる。

たかさき消防共同指令センター運用開始。

既配置指揮車（トヨタハイエース）東部消防署から消防本部に配置換。

28. 4.28 救急救命士（登録番号52814号）誕生。

28. 6.16 消防職員1名退職、総員117名となる。

28. 9.26 公用車（ニッサンセレナ）消防本部購入配置。

28.11. 2 高規格救急車（トヨタハイメディック）中之条分署購入配置。

28.11.26 広報連絡車（ニッサンADバン）長野原分署購入配置。

28.11.30 中之条分署既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）群馬県消防学校へ寄贈。

28.12.31 消防職員1名退職、総員116名となる。

29. 1.31 消防職員1名退職、総員115名となる。

29. 3.31 消防職員6名、再任用職員1名退職、総員108名となる。

平成29. 4. 1 消防職員7名、再任用職員1名採用、総員116名（事務職員1名含む）となる。

29. 4. 1 「吾妻広域消防本部」に名称変更。

29. 4.12 救急救命士（登録番号54446号）誕生。

29. 6. 9 西部消防署既配置指揮車（トヨタハイエース）廃車。

29. 8.31 公用車（スズキスペーシア）消防本部購入配置。

30. 1.23 本白根山噴火災害発生。応援協定に基づき県内全消防本部へ応援要請。

30. 3.16 水槽付消防ポンプ自動車救助工作車兼用車（いすゞフォワード）西部消防署購入配置。

西部消防署既配置救助工作車（いすゞエルフ）廃車。

既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）西部消防署から東部消防署に配置換。

東部消防署既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）廃車。

30. 3.31 消防職員1名退職、総員115名となる。

平成30. 4. 1 消防職員3名、再任用職員1名採用、総員119名（事務職員1名含む）となる。

30. 5.15 救急救命士（登録番号58434号）誕生。

30. 8.10 群馬県防災ヘリコプター「はるな」が中之条町大字入山地内山中に墜落。搭乗者9名全員死亡。うち吾妻広域消防本部所属職員6名。

消防職員6名殉職、総員113名となる。

31. 2. 5 指揮車（トヨタサクシード）西部消防署購入配置。西部消防署既配置指揮車（ニッサンADバン）廃車。

	3 1.	2. 2 1	高規格救急車（ニッサンキャラバン）長野原分署購入配置。長野原分署既配置救急車（トヨタハイエース）西部消防署に配置換。西部消防署既配置救急車（トヨタグランビア）廃車。
	3 1.	3. 3 1	消防職員 3 名、再任用職員 1 名退職、総員 109 名となる。
平成	3 1.	4. 1	消防職員 4 名、再任用職員 2 名採用、総員 115 名（事務職員 1 名含む）となる。
	3 1.	4. 1 5	救急救命士（登録番号 59790 号）誕生。
令和	1.	6. 2 0	消防本部・東部消防署新庁舎建設工事着工。
		2. 2. 2 6	屈折はしご付消防自動車分解整備業務委託。
令和	2.	4. 1	消防職員 5 名採用、総員 120 名（事務職員 1 名含む）となる。
		2. 4. 2 0	救急救命士（登録番号 62773 号）誕生。
		2. 5. 2 0	消防本部・東部消防署新庁舎完成。
		2. 6. 1 5	消防本部・東部消防署移転業務開始。
		2. 7. 1 1	群馬県防災ヘリコプター「はるな」事故慰霊碑建立・除幕式。
	3.	1. 2 9	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）東部消防署購入配置 東部消防署既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）廃車。
	3.	3. 3 1	事務職員 1 名、再任用職員 1 名退職、総員 118 名となる。
令和	3.	4. 1	消防職員 2 名採用、総員 120 名となる。
		3. 4. 1 4	救急救命士（登録番号 65081 号）誕生。
		3. 8. 3 1	消防職員 1 名退職、総員 119 名となる。
		3. 1 2. 9	人員搬送車（トヨタハイエース）消防本部購入配置。消防本部既配置人員搬送車（トヨタハイエース）東部消防署に配置換。東部消防署既配置公用車（トヨタハイエース）廃車。
	4.	1. 6	高規格救急車（ニッサンパラメディック）嬭恋分署購入配置。嬭恋分署既配置救急車（トヨタハイメディック）西部消防署に配置換。西部消防署既配置救急車（トヨタハイメディック）廃車。
	4.	3. 3 1	消防職員 1 名、再任用職員 2 名退職、総員 116 名となる。
令和	4.	4. 1	消防職員 2 名、再任用職員 1 名採用、総員 119 名となる。
		4. 4. 1 1	救急救命士（登録番号 67482 号）誕生。
		4. 8. 1 9	消防職員 1 名退職、総員 118 名となる。
		4. 9. 3 0	消防職員 1 名退職、総員 117 名となる。
	5.	2. 2 7	災害対応特殊救急自動車（ニッサンパラメディック）東部消防署購入配置。東部消防署既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）廃車。
	5.	3. 3 1	消防職員 1 名退職、総員 116 名となる。
令和	5.	4. 1	消防職員 3 名採用、総員 119 名となる。
		5. 4. 1 8	救急救命士（登録番号 70888 号）誕生。

6. 1. 1 令和 6 年能登半島地震に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急小隊 1 隊及び後方支援隊 1 隊が出動する。
(第 1 次派遣隊～第 4 次派遣隊：1 月 1 日～1 月 10 日)
6. 2. 1 4 高規格救急車(ニッサンパラメディック)西部消防署購入配置。西部消防署既配置高規格救急車(トヨタハイメディック)廃車。
6. 3. 3 1 消防職員 2 名退職、総員 117 名となる。
-

- 令和 6. 4. 1 消防職員 1 名、再任用職員 1 名採用、総員 119 名となる。
6. 4. 1 5 救急救命士(登録番号 73892 号)誕生。
6. 6. 2 5 長野原分署新庁舎建設工事着工。
6. 7. 3 高機能消防指令システム更新整備工事着工。
7. 2. 2 8 令和 7 年大船渡市大規模林野火災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から消火小隊 1 隊及び後方支援隊 1 隊が出動する。
(第 1 次派遣隊～第 4 次派遣隊：2 月 28 日～3 月 10 日)
7. 3. 3 1 消防職員 4 名、再任用職員 1 名退職、総員 114 名となる。
-

- 令和 7. 4. 1 消防職員 4 名、再任用職員 1 名採用、総員 119 名となる。

総務

令和6年度組合決算概要

歳入及び歳出

(単位：円)

歳入		歳出	
分担金及び負担金	1,585,311,000	議会費	159,245
使用料及び手数料	15,062,600	総務費	131,367,990
国庫支出金	0	民生費	291,557,811
県支出金	340,000	衛生費	90,300,594
財産収入	1,145,169	農林水産業費	323,094
寄付金	0	商工費	5,035,890
繰入金	113,481,000	消防費	1,406,031,167
繰越金	63,947,449	教育費	2,203,799
諸収入	146,509,244	公債費	148,886,958
組合債	536,600,000	予備費	0
合計	2,462,396,462	合計	2,075,866,548

各町村の消防費基準財政需要額と負担金

(単位：千円)

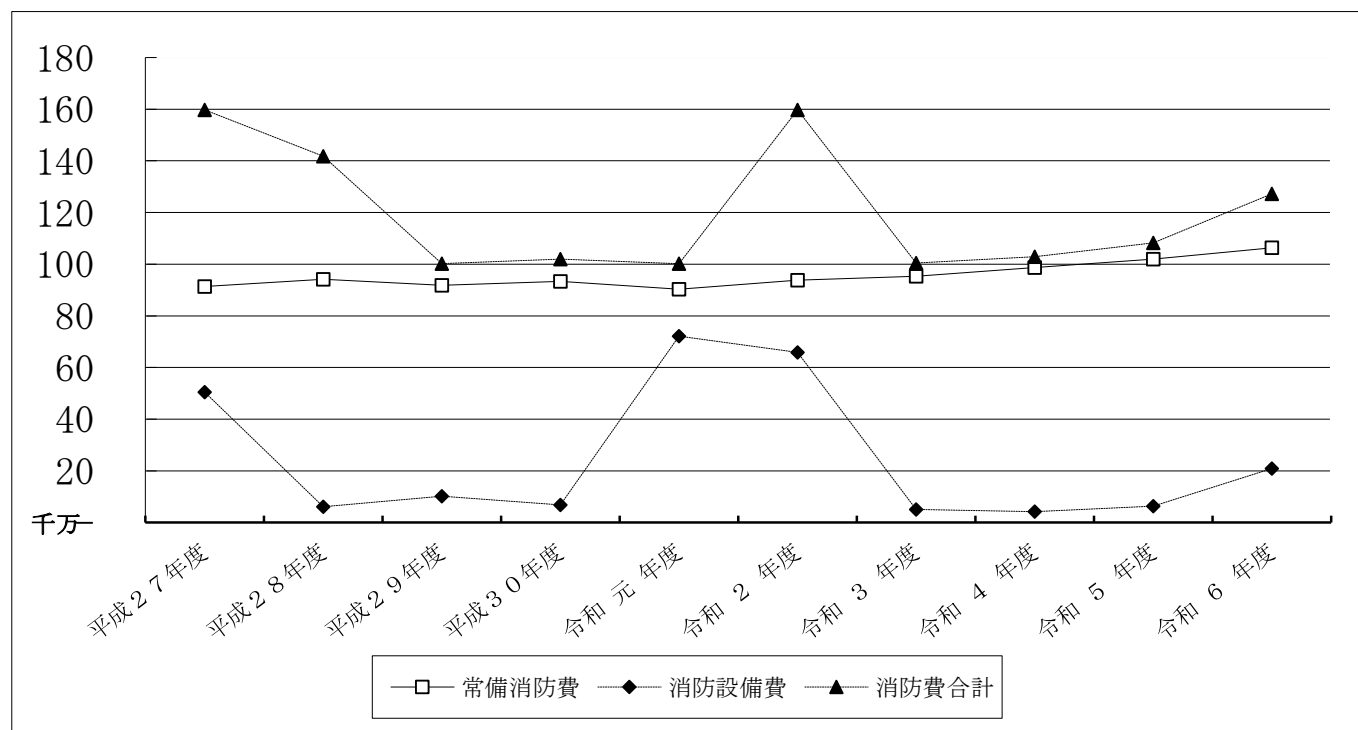
区分 町村名	消防費基準 財政需要額（5年度）	負担金	消防基準財政需要額に 対する負担割合（％）
中之条町	359,275	301,571	83.94%
長野原町	182,630	158,961	87.04%
嬭恋村	254,388	215,627	84.76%
草津町	174,858	166,669	95.32%
高山村	143,121	102,397	71.55%
東吾妻町	320,392	307,239	95.89%
合計	1,434,664	1,252,464	87.30%

消防費の推移

(単位：円)

年 度 区 分	消 防 費		合 計	一世帯及び住民一人当たりの消防経費	
	常備消防費	消防設備費		一世帯当たり	住民一人当たり
平成27年度	913,455,584	504,361,647	1,597,447,000	68,422	27,646
平成28年度	941,348,848	60,601,493	1,417,817,231	60,459	24,951
平成29年度	917,977,785	102,107,469	1,001,950,341	42,613	17,951
平成30年度	933,578,535	68,171,334	1,020,085,254	42,623	18,504
令和元年度	903,050,233	721,322,790	1,001,749,869	42,271	18,525
令和2年度	938,164,928	658,900,220	1,597,065,148	67,532	30,058
令和3年度	953,687,251	50,217,340	1,003,904,591	43,480	19,245
令和4年度	986,780,297	41,812,492	1,028,592,789	44,070	20,164
令和5年度	1,019,454,843	62,834,192	1,082,289,035	45,912	21,528
令和6年度	1,063,365,727	209,268,840	1,272,634,567	53,585	25,695

消防費



消防機関の所在図



西部消防署
(人員25名)



中之条分署
(人員13名)



嬭恋分署
(人員13名)



長野原分署
(人員13名)



消防本部 (人員29名)
東部消防署 (人員26名)

消防機関の所在地

名 称	所在地等	所 在 地	電 話 番 号
		建 設 年 月 ・ 構 造	
消 防 本 部		群馬県吾妻郡東吾妻町大字植栗 1 1 7 4 番地 1	(代)
		令和 2 年 5 月 R C 造 4 階建	0 2 7 9 (6 8) 0 1 1 9
東 部 消 防 署		群馬県吾妻郡東吾妻町大字植栗 1 1 7 4 番地 1	(代)
		令和 2 年 5 月 R C 造 4 階建	0 2 7 9 (6 8) 0 1 1 9
中 之 条 分 署		群馬県吾妻郡中之条町大字伊勢町 5 6 4 番地 1	
		昭和 5 1 年 3 月 R C 造 2 階建	0 2 7 9 (7 5) 4 1 1 9
西 部 消 防 署		群馬県吾妻郡草津町大字草津 2 番地 6	
		平成 2 7 年 1 0 月 鉄骨造 3 階建	0 2 7 9 (8 8) 0 1 1 9
長 野 原 分 署		群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋甲 1 4 番地	
		昭和 5 0 年 2 月 R C 造 2 階建	0 2 7 9 (8 2) 3 1 1 9
嬭 恋 分 署		群馬県吾妻郡嬭恋村大字大前 1 2 5 番地 1	
		昭和 5 1 年 1 月 R C 造 2 階建	0 2 7 9 (9 6) 1 1 9 0

消防庁舎の現況

	竣 工 (年 月)	敷 地 面 積 (㎡)	構 造	建 物 面 積 (㎡)				計 (㎡)
				1 階	2 階	3 階	4 階	
消 防 本 部 東部消防署	令 2 . 5	15,706.8	鉄筋コンクリート造 4 階	1,681.5	998.1	820.1	820.1	4,319.8
中之条分署	昭 5 1 . 3	1,193.0	鉄筋コンクリート造 2 階	175.0	107.3			282.3
西部消防署	平 2 7 . 1 0	1,218.7	鉄 骨 造 3 階	473.9	486.4	65.4		1,025.7
長野原分署	昭 5 0 . 2	1,044.5	鉄筋コンクリート造 2 階	189.1	108.7			297.8
嬭 恋 分 署	昭 5 1 . 1	1,376.0	鉄筋コンクリート造 2 階	180.4	107.3			287.7

消 防 用 車 両 配 備 調

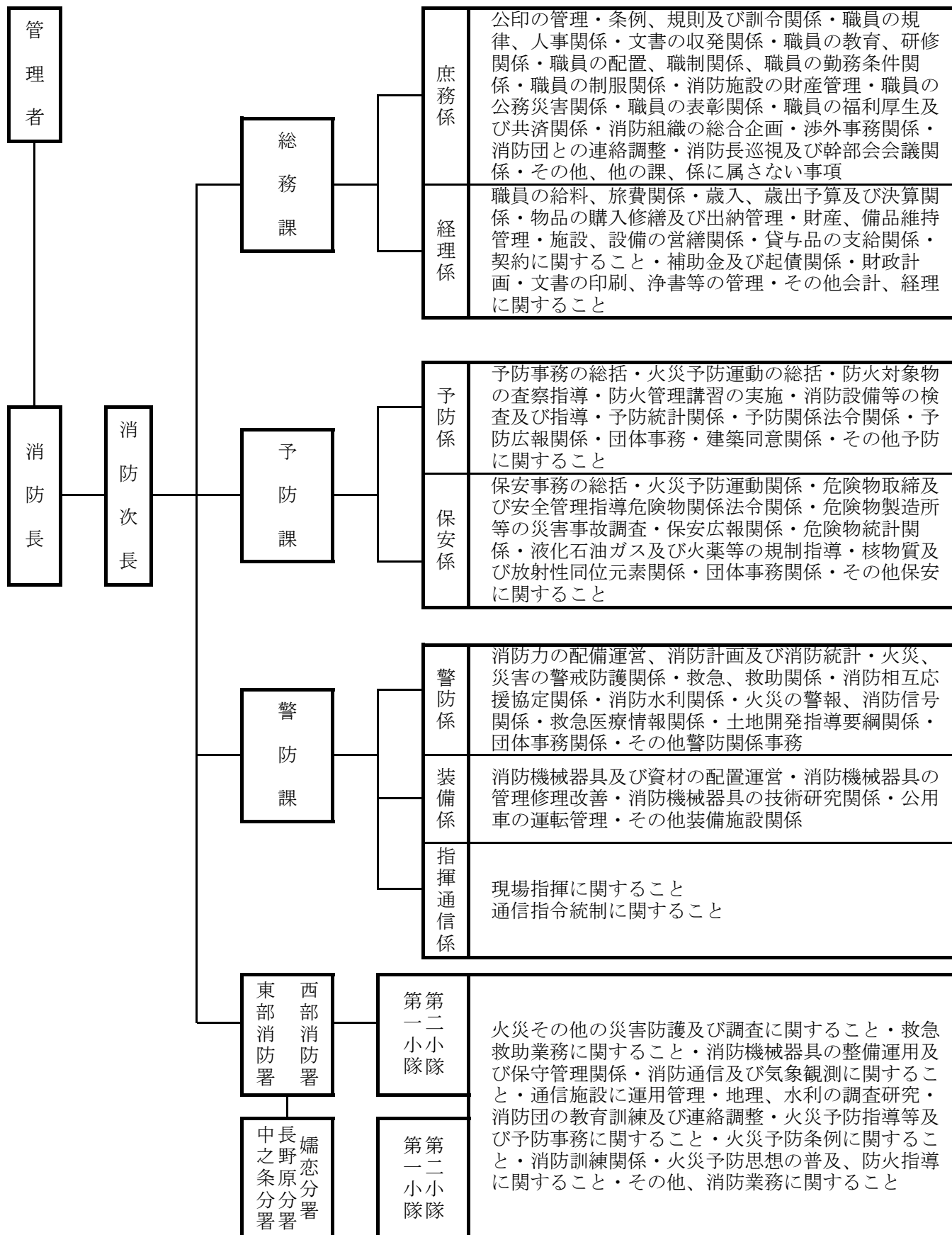
令和7年4月1日

所 属	種 別	名 称	車 名	登録番号	級別	艤装会社	補助金別 (千円)	購入年月日	経過年	備考
消 防 本 部	公 用 車	吾妻本部 1	ニセ ッ サ レ ナ	群馬 503 さ 8281	普通			H28. 9. 26	8	
	連 絡 車	吾妻連絡 1	スズ キ ペー シア	群馬 581 と 292	軽乗用			H29. 8. 31	7	
	人 員 搬 送 車	吾妻搬送 1	トヨタハイエース ワゴン G L	群馬 302 つ 8070	普通			R3. 12. 9	3	
	予 防 査 察 車	吾妻予防 1	ニセ ッ サ エクストレイル	群馬 800 す 2727	消防	温井自動車		H15. 11. 6	21	
	危 険 物 指 導 車	吾妻予防 2	スバ ル サン パー	群馬 480 こ 673	軽貨			H22. 3. 24	15	
	指 揮 車	吾妻東部 指 揮 1	ト ヨ タ ハイエース	群馬 831 ひ 119	消防	赤 尾		H27. 12. 11	9	
	高 規 格 救 急 車	吾妻救急 1	ト ヨ タ ハイメディック	群馬 800 せ 2876	高規格	ト ヨ タ	県単 1, 571	H23. 3. 4	14	
東 部 消 防 署	公 用 車	吾妻東部 搬 送 1	トヨタハイエース ワゴン G	群馬 300 そ 9579	普通			H12. 5. 31	24	
	水 槽 付 消 防 車	吾妻東部 ポンプ 1	い す ざ フォワード	群馬 800 は 2305	水Ⅱ	日本機械	国庫 15, 541	R3. 1. 29	4	水2,000 ^{リットル} 緊援隊登録
	水 槽 付 消 防 車	吾妻東部 ポンプ 2	ミ ツ ビ シ ファイター	群馬 800 は 102	水Ⅱ	モ リ タ	国庫 5, 915	H12. 2. 9	25	水2,000 ^{リットル}
	救 助 工 作 車	吾妻東部 救 助 1	ヒ レ ン ジ ャー	群馬 800 は 1629	救工Ⅱ	帝国繊維		H24. 12. 10	12	
	資 機 材 搬 送 車	吾妻東部 資 材 1	ニ ッ サ ン アットラ	群馬 800 せ 3463	消防	ニ ッ サ ン		H23. 11. 14	13	緊援隊登録
	災 害 対 応 特 殊 救 急 自 動 車	吾妻東部 救 急 1	ニ ッ サ ン パラメディック	群馬 800 そ 1722	高規格	ニ ッ サ ン	国庫 14, 818	R5. 2. 27	2	緊援隊登録
	高 規 格 救 急 車	吾妻東部 救 急 2	ニ ッ サ ン パラメディック	群馬 800 せ 6094	高規格	ニ ッ サ ン	国庫 13, 557	H27. 1. 20	10	
中 之 条 分 署	指 令 (広 報) 車	吾妻中之条 指 令 1	ニ ッ サ ン A D パ	群馬 800 せ 6659	消防	ニ ッ サ ン		H27. 11. 5	9	
	水 槽 付 消 防 車	吾妻中之条 ポンプ 1	ヒ レ ン ジ ャー	群馬 800 は 918	A2	モ リ タ	国庫 11, 033	H18. 2. 16	19	水2,000 ^{リットル}
	高 規 格 救 急 車	吾妻中之条 救 急 1	ト ヨ タ ハイメディック	群馬 800 せ 7372	高規格	ト ヨ タ		H28. 11. 2	8	
西 部 消 防 署	指 揮 車	吾妻西部 指 揮 1	ト ヨ タ サクシード	群馬 800 せ 8904	消防	ト ヨ タ		H31. 2. 5	6	
	連 絡 車	吾妻西部 資 材 1	スズ キ エブリイワゴン	群馬 480 た 7698	軽貨			H26. 11. 27	10	
	屈折梯子付消防 ポンプ自動車	吾妻西部 梯 子 1	ヒ レ ン ジ ャー	群馬 808 ら 1689	屈折	モ リ タ	国庫 19, 044	H8. 3. 19	29	(20m級)
	水 槽 付 消 防 車	吾妻西部 ポンプ 1	い す ざ フォワード	群馬 800 は 2069	水ⅠA	日本機械		H30. 3. 16	7	水1,500 ^{リットル}
	高 規 格 救 急 車	吾妻西部 救 急 1	ニ ッ サ ン パラメディック	群馬 800 そ 2468	高規格	ニ ッ サ ン		R6. 2. 14	1	
	高 規 格 救 急 車	吾妻西部 救 急 2	ト ヨ タ ハイメディック	群馬 800 せ 5167	高規格	ト ヨ タ		H25. 11. 11	11	
長 野 原 分 署	指 令 (広 報) 車	吾妻長野原 指 令 1	ニ ッ サ ン A D パ	群馬 800 せ 7388	消防	ニ ッ サ ン		H28. 11. 11	8	
	水 槽 付 消 防 車	吾妻長野原 ポンプ 1	ヒ レ ン ジ ャー	群馬 800 は 1645	水ⅠB	モ リ タ		H25. 2. 20	12	水1,500 ^{リットル} CAFS
	高 規 格 救 急 車	吾妻長野原 救 急 1	ニ ッ サ ン パラメディック	群馬 800 せ 8929	高規格	ニ ッ サ ン		H31. 2. 21	6	
嬬 恋 分 署	指 令 (広 報) 車	吾妻嬬恋 指 令 1	ト ヨ タ ボクシー	群馬 800 す 5670	消防	温井自動車		H17. 4. 28	19	
	水 槽 付 消 防 車	吾妻嬬恋 ポンプ 1	ヒ レ ン ジ ャー	群馬 800 は 1380	水ⅠA	モ リ タ	国庫 11, 519	H22. 3. 8	15	水1,500 ^{リットル} CAFS 緊援隊登録
	高 規 格 救 急 車	吾妻嬬恋 救 急 1	ニ ッ サ ン パラメディック	群馬 800 そ 1018	高規格	ニ ッ サ ン		R4. 1. 6	3	

消防職員教養研修調

種 別		教育実日数	人数	教 育 内 容 又 は 教 育 訓 練 到 達 目 標	
救急救命士研修	新規救急救命士研修	126	1	救急救命士の資格を取得するために必要な高度かつ専門的な教育。	
	指導救命士養成研修			救急救命士の資格を有する消防職員に対して、指導救命士とされる知識及び技術を習得させることを目的とする。	
	処置拡大追加講習			救急救命士の資格を有する消防職員に対して、心肺機能停止状態でない重度傷病者に対する救急救命処置に必要とされる知識及び技術を習得させることを目的とする。	
消防大学校	総合教育	幹 部 科			消防に関する高度の知識及び技術を総合的に習得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成する。
		上 級 幹 部 科			消防に関する高度の知識及び技術を総合的に習得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させる。
	専科教育	警 防 科			警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、警防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
		救 助 科	35	1	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救助業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
		救 急 科			救急隊長等に対し、高度の知識及び能力を総合的に修得させ、救急業務の指導者としての資質を向上させる。（指導救命士養成教育を含む。）
		予 防 科			予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
		危 険 物 科			危険物保安業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、危険物保安業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
		火 災 調 査 科			火災調査業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
群馬県消防大学校	初任	初 任 科	112	1	服務義務を理解し、職務意欲が旺盛で住民の信頼が得られること。警防隊員として、基本的な安全管理を理解するとともに、自らの安全を確保し、災害現場では隊長の下命に基づく基本的な活動ができること。消防業務全般について概要を理解していること。住民からの一般的な質問に応答できること。
	専科教育	警 防 科	10	2	警防行政の現状及び課題を理解していること。防災関係法令に関する専門的知識及び災害対策に関する最新の知識を豊富に有していること。各種災害事象に対する基本的消防戦術を理解し、災害現場において部隊を適切かつ効果的に指揮できること。
		予 防 査 察 科	10	2	査察行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。防火管理、建築規制、危険物規制及び消防用設備等に関する最新の知識を豊富に有し、査察要領を修得していること。違反処理に係る専門的知識を修得し、違反対象物に対して是正を指導できること。
		危 険 物 科	7	2	危険物行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。危険物化学、指定可燃物及び液化石油ガス等に関して災害対策上必要な科学的特性等に係る専門的知識を豊富に有していること。危険物施設に対して許認可等の規制を的確に行い、違反を適切に処理できること。
		火 災 調 査 科	10	2	火災調査業務に係る制度を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。原因調査、損害調査及び鑑識等に係る専門的知識を豊富に有し、的確な判断能力を備えていること。文書実務に係る知識を豊富に有しており、技能を十分に発揮できること。
		救 急 科	38	1	救急業務及び救急医学に関する基本的な知識を有していること。応急処置に必要な解剖生理及び各科の疾病状況に関する専門的知識を有しており、応急処置時における的確な観察及び判断能力を備えていること。応急処置に必要な専門的スキルを有し、救急用器具の取扱いに精通していること。
		救 助 科	20	2	厳しい条件下での救助活動を遂行しうる旺盛な志気及び強健な身体を有していること。救助活動に係る最新の専門的知識を豊富に有しており、専門的で高度な技能及び技術を備え、これらを活用した応用力を十分に発揮できること。救助活動及び救助訓練において自らの安全を確保できること。
	幹部	中 級 幹 部 科	7	1	中級幹部として消防行政の動向を理解しており、迅速かつ的確な意思決定により、上司の補佐及び部下の指導監督を行い、組織を管理運営できること。
	特別教育	無線通信課程	3	1	電波法に基づく第二級陸上特殊無線技士の免許を取得させる。（初任科生も受講）
		ポンプ操法指導員課程			ポンプ操法の技術向上と指導者としての育成を図る。
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習		1	1	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管に関する知識・実技を習得する。	

機構図及び事務分掌



消防本部・署の職員数調

令和7年4月1日

階 級 部 署		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
消防本部	消防長	1								1
	総務課		1	1	2	2				6
	予防課		1	2	1	3				7
	警防課		1	4	3	6	1			15
消防署	東部消防署		1	2	4	10	6	3		26
	西部消防署		1	2	4	10	4	4		25
	中之条分署			1	4	4	1	3		13
	長野原分署			1	4	4	3	1		13
	嬭恋分署			1	4	4	3	1		13
計		1	5	14	26	43	18	12	0	119

※総務課・予防課 消防士長2名は再任用

在職年数調

階 級 勤続年数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
5年未満							12		12
5年以上10年未満					9	17			26
10年以上15年未満				1	25	1			27
15年以上20年未満				3	5				8
20年以上25年未満				12	2				14
25年以上30年未満			8	9					17
30年以上35年未満		3	5	1					9
35年以上	1	2	1		2				6
計	1	5	14	26	43	18	12	0	119

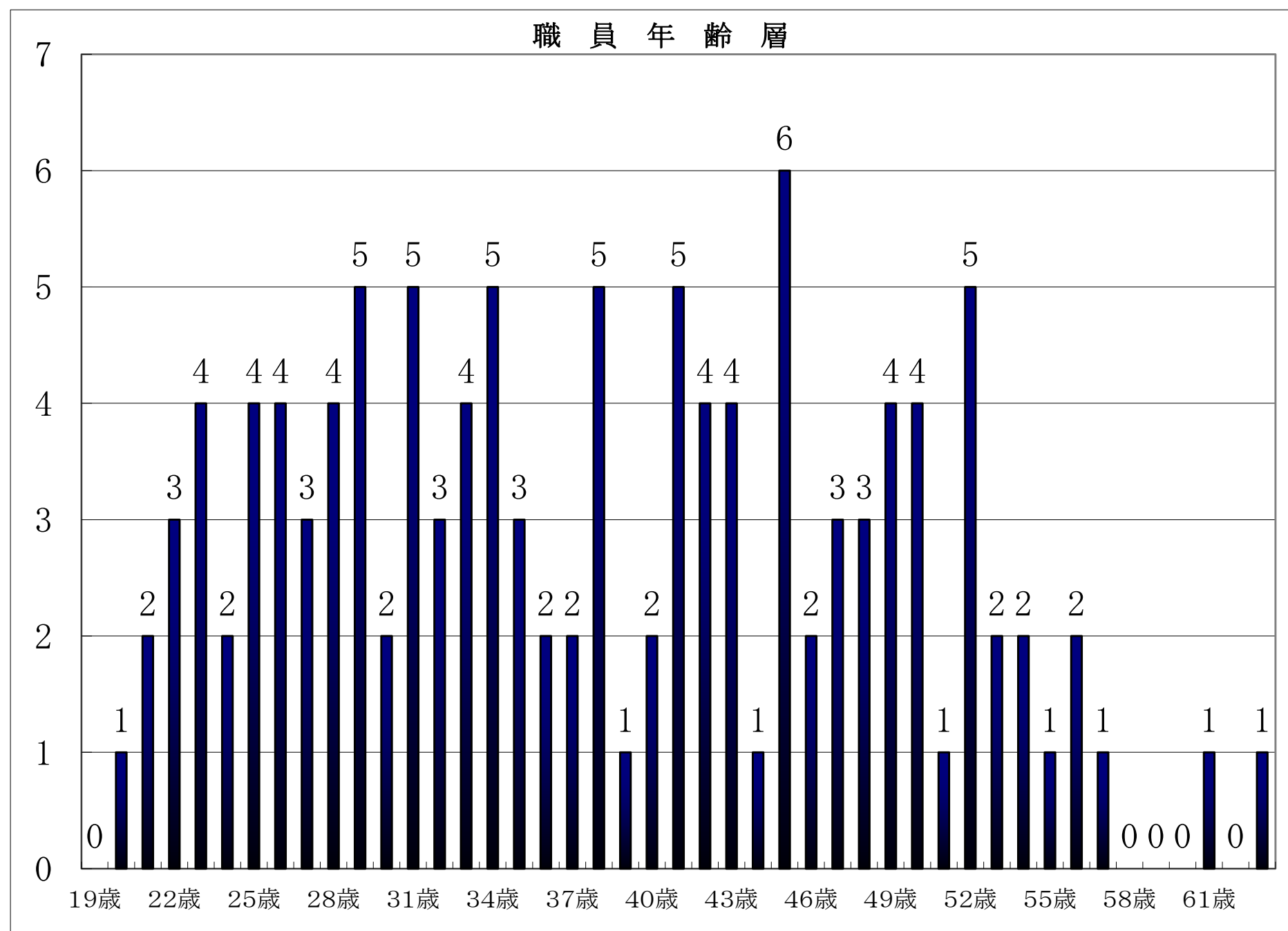
※35年以上消防士長2名は再任用

年齢別及び階級別職員調

令和7年4月1日

階級 年齢	消 防 監	消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長	消 防 士	そ の 職 他 員	計
1 8 歳							1		1
1 9 歳									0
2 0 歳							1		1
2 1 歳							2		2
2 2 歳							3		3
2 3 歳						3	1		4
2 4 歳						1	1		2
2 5 歳						2	2		4
2 6 歳						4			4
2 7 歳						3			3
2 8 歳						4			4
2 9 歳					3	1	1		5
3 0 歳					2				2
3 1 歳					5				5
3 2 歳					3				3
3 3 歳					4				4
3 4 歳					5				5
3 5 歳					3				3
3 6 歳					2				2
3 7 歳					2				2
3 8 歳					5				5
3 9 歳					1				1
4 0 歳					2				2
4 1 歳				1	4				5
4 2 歳				4					4
4 3 歳				4					4
4 4 歳				1					1
4 5 歳				6					6
4 6 歳				2					2
4 7 歳				3					3
4 8 歳				3					3
4 9 歳			2	2					4
5 0 歳			4						4
5 1 歳			1						1
5 2 歳		1	4						5
5 3 歳		1	1						2
5 4 歳		1	1						2
5 5 歳		1							1
5 6 歳		1	1						2
5 7 歳	1								1
5 8 歳									0
5 9 歳									0
6 0 歳									0
6 1 歳					1				1
6 2 歳									0
6 3 歳					1				1
計	1	5	14	26	43	18	12	0	119

※ 6 1 歳・6 3 歳 消防士長 2 名は再任用。



職員住所地別配置人員

令和7年4月1日

部署別 町村名	消 防 本 部	東部消防署	東部消防署 中之条分署	西部消防署	西部消防署 長野原分署	西部消防署 嬭恋分署	合 計
中 之 条 町	11	13	8	10	7	5	54
長 野 原 町	1	2					3
嬭 恋 村	2	3	2	3	1	3	14
草 津 町	1			4	2		7
高 山 村		2					2
東 吾 妻 町	9	2	3	6	3	4	27
郡 外	5	4		2		1	12
合 計	29	26	13	25	13	13	119

消防職員 1 人に対する人口・世帯数の推移

区 分 年月日	職員数 (事務職員 を除く)	人 口	世 帯 数	消防職員 1 人に対する	
				人 口	世 帯 数
平成 20 年 4 月 1 日	107	64,951	23,507	607	220
平成 21 年 4 月 1 日	106	64,943	23,469	613	221
平成 22 年 4 月 1 日	104	63,328	23,419	609	225
平成 23 年 4 月 1 日	106	62,452	23,404	589	221
平成 24 年 4 月 1 日	107	61,732	23,413	577	219
平成 25 年 4 月 1 日	109	60,893	23,484	559	215
平成 26 年 4 月 1 日	109	60,180	23,568	552	216
平成 27 年 4 月 1 日	114	58,900	23,423	517	205
平成 28 年 4 月 1 日	116	57,782	23,347	498	201
平成 29 年 4 月 1 日	115	56,823	23,451	494	204
平成 30 年 4 月 1 日	118	55,817	23,513	473	199
平成 31 年 4 月 1 日	114	55,127	23,933	484	210
令和 2 年 4 月 1 日	119	54,077	23,698	454	199
令和 3 年 4 月 1 日	120	53,133	23,649	443	197
令和 4 年 4 月 1 日	119	52,164	23,089	438	194
令和 5 年 4 月 1 日	119	51,011	23,340	429	196
令和 6 年 4 月 1 日	119	50,273	23,573	422	198
令和 7 年 4 月 1 日	119	49,529	23,750	416	200

予 防

町村別防火対象物の状況（令別表第1による区分）

令和7年3月31日

町 村 別 用 途 別			中 之 条 町	長 野 原 町	嬬 恋 村	草 津 町	高 山 村	東 吾 妻 町	合 計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1			3		1	5
	ロ	公会堂・集会場	14	7	21	9	7	15	73
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等							0
	ロ	遊技場・ダンスホール等	1		5	3			9
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗							0
	ニ	カラオケボックス等						1	1
3	イ	待合・料理店等							0
	ロ	飲食店	17	19	22	19	2	13	92
4		百貨店・マーケット・その他の店舗等	28	17	13	22	5	27	112
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	61	49	176	176	8	16	486
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	68	32	40	142	5	40	327
6	イ	病院・診療所・助産所	18	5	2	9	1	6	41
	ロ	老人介護施設・障害者支援施設等	12	3	5	3	3	9	35
	ハ	保育所・デイサービス等	11	5	6	2		12	36
	ニ	幼稚園・養護学校等	3		1		2	7	13
7		小・中・高校・大学・各種学校	18	10	7	2	6	9	52
8		図書館・博物館・美術館等	2	2	2	2	2		10
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場							0
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	2	4	6	1	3	18
10		車両の停車場等	1	3	1				5
11		神社・寺院・教会等	11	4	8	9	2	13	47
12	イ	工場・作業場	44	22	25	4	5	70	170
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							0
13	イ	自動車車庫・駐車場	8	8	10	8	1	6	41
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							0
14		倉庫	16	24	19	5	14	38	116
15		前各号に該当しない事業場	107	102	56	35	28	173	501
16	イ	特定用途複合防火対象物	31	22	23	55	5	14	150
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	7	6	3	11	2		29
17		重要文化財等	2						2
合 計			483	342	449	525	99	473	2,371

消防用設備等の設置届検査件数（月別）

令和7年3月31日

設 備 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
消 火 器	4	2	2			1	5	1	7	1	1	9	33
屋 内 消 火 栓 設 備		1	1			2			2	1		2	9
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備									1			1	2
水 噴 霧 消 火 設 備													0
泡 消 火 設 備													0
二 酸 化 炭 素 消 火 設 備													0
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備													0
粉 末 消 火 設 備													0
屋 外 消 火 栓 設 備													0
動 力 消 防 ポ ン プ													0
自 動 火 災 報 知 設 備	11	4	8	9	9	6	8	6	19	8	8	11	107
ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備													0
漏 電 火 災 警 報 器									1			1	2
火 災 報 知 設 備	1			1	4		2		2	1		5	16
非 常 警 報 設 備	2			1		1	4		2	2	1	1	14
避 難 器 具									1				1
誘 導 灯	2	3	3	1		2	4	1	8	4	6	7	41
消 防 用 水													0
排 煙 設 備													0
連 結 散 水 設 備													0
ド レ ン チ ャ ー 設 備													0
連 結 送 水 管 設 備						1							1
非 常 コ ン セ ン ト		1				1							2
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備													0
パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備													0
計	20	11	14	12	13	14	23	8	43	17	16	37	228
検 査 件 数	12	6	9	11	13	7	13	6	27	11	10	15	140

火災予防条例関係届出件数（月別）

令和7年3月31日

届出別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	27	13	12	10	11	17	11	13	14	11	9	18	166
火災と紛らわしい煙又は火災を発生する おそれのある行為	4	4	7	13	2	3	6	6	25	25	12	1	108
煙火の打ち上げ又は仕掛け	1		1	2	4	3	3						14
催 物 の 開 催	1				1	1	1						4
水 道 の 断 水 又 は 減 水											1		1
道 路 工 事	7	8	10	13	19	18	34	30	14	16	6	10	185
指定洞道（新規・変更・廃止）													0
露 店 等 の 開 設 届 出 書	2		2	5	3	1	2	1	1			1	18
炉・厨房・暖房器具 [※] イラー・ヒートポンプ [※]	2	4	11	12	5	9	2	1	2	4	7	3	62
変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 設 備	6	4	4	13	3	3		2	1	2	1	3	42
ネ オ ン 管 灯 設 備													0
上 記 届 出 の 廃 止 届	1		2	5				1			4	2	15
水素ガスを充填する気球													0
合 計	51	33	49	73	48	55	59	54	57	58	40	38	615

月別建築同意件数

令和7年3月31日

種 別 月 別	新 築	増 築	改 築	移 転	用 途 変 更	模様替	設 備 工作物	計 画 変 更	計
4 月	5								5
5 月	2							4	6
6 月	5	1						3	9
7 月	3								3
8 月	2								2
9 月	6							3	9
10 月	5							1	6
11 月	4	2						1	7
12 月								3	3
1 月									0
2 月	5							2	7
3 月	5							2	7
計	42	3	0	0	0	0	0	19	64

町村別建築同意件数

令和7年3月31日

種 別 町村別	新 築	増 築	改 築	移 転	用 途 変 更	模様替	設 備 工作物	計 画 変 更	計
中之条町	1	1						1	3
長野原町	11							1	12
嬭 恋 村	14							11	25
草 津 町	11	2						6	19
高 山 村									0
東吾妻町	5								5
計	42	3	0	0	0	0	0	19	64

危険物施設の許認可等事務処理状況

令和7年3月31日

製造所等の別 種 別			製 造 所	貯 蔵 所							取扱所		合 計
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
許 可	設 置						1		1	1			3
	変 更			1			9		1		7	9	27
	常置場所の 変更	他許可行政庁に転出							2			2	
他許可行政庁から転入												0	
完 成 検 査	設 置								3	1			4
	変 更			1			9		1		6	8	25
	他 許 可 行 政 庁 か ら 転 入												0
廃 止 届					1		2		5	1	1	1	11
	完成検査前に設置許可の取り消し処分												0
完 成 検 査 前 検 査							2				1		3
休 止 届					1		1				1		3
使 用 再 開					1								1
仮 使 用 承 認							3				4	1	8
保 安 監 督 者 選 任 届				2	1		7			1	13	8	32
保 安 監 督 者 解 任 届				2	1		7			1	10	7	28
譲 度 引 渡 届												1	1
種 類 数 量 変 更 届													0
資 料 提 出				2	2		21		3		19		47
合 計			0	8	7	0	62	0	16	5	62	35	195

数量別危険物施設数

令和7年3月31日

製造所等の別 種 別	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
指 定 数 量 の 5 倍 以 下		7	5	13	92		74		191	15	39	54	245
指定数量の5倍を越え10倍以下		1	12	4	47			1	65	12	15	27	92
〃 10倍を越え50倍以下		4	13	1	50				68	32	20	52	120
〃 50倍を越え100倍以下					9		1		10	10	1	11	21
〃 100倍を越え150倍以下		2							2	11	1	12	14
〃 150倍を越え200倍以下		7							7	9		9	16
〃 200倍を越え1000倍以下					1				1	7		7	8
合 計	0	21	30	18	199	0	75	1	344	96	76	172	516

町村別危険物施設数

令和7年3月31日

製造所等の別 町 村 別	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
中 之 条 町		6		1	32		12		51	18	11	29	80
長 野 原 町		1	5		23		20		49	19	9	28	77
婦 恋 村			13	7	47		22		89	26	15	41	130
草 津 町				6	69		10	1	86	6	16	22	108
高 山 村		1	3	1	8		1		14	11	1	12	26
東 吾 妻 町		13	9	3	20		10		55	16	24	40	95
合 計	0	21	30	18	199	0	75	1	344	96	76	172	516

火 災

令和6年火災概況（前年比較）

区 分		令和6年	令和5年	増 減
出 火 件 数 (件)	建 物 火 災	20	9	11
	林 野 火 災	1	1	0
	車 両 火 災	3	8	-5
	そ の 他 火 災	5	12	-7
	計	29	30	-1
焼 損 棟 数 (棟)	全 焼	9	8	1
	半 焼	1	0	1
	部 分 焼	8	6	2
	ぼ や	7	5	2
	計	25	19	6
建物焼損床面積 (㎡)		1,212	718	494
建物焼損表面積 (㎡)		24	116	-92
林野焼損面積 (a)		2	15	-13
死 傷 者	死 者	1	0	1
	負 傷 者	5	4	1
	計	6	4	2
り 災 世 帯		8	9	-1
り 災 人 員		14	16	-2
損 害 額 (千円)	建 物 火 災	51,903	26,016	25,887
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	1,349	4,593	-3,244
	そ の 他 火 災	0	0	0
	計 (千円)	53,252	30,609	22,643
一 件 当	建物焼損面積 (㎡)	60.60	79.78	-19.18
	林野焼損面積 (a)	2.00	15.00	-13.00
	損 害 額 (千円)	1,836.28	1,020.30	815.91
出 火 率 (1万人当)		5.82	5.93	-0.11

原因別火災発生状況

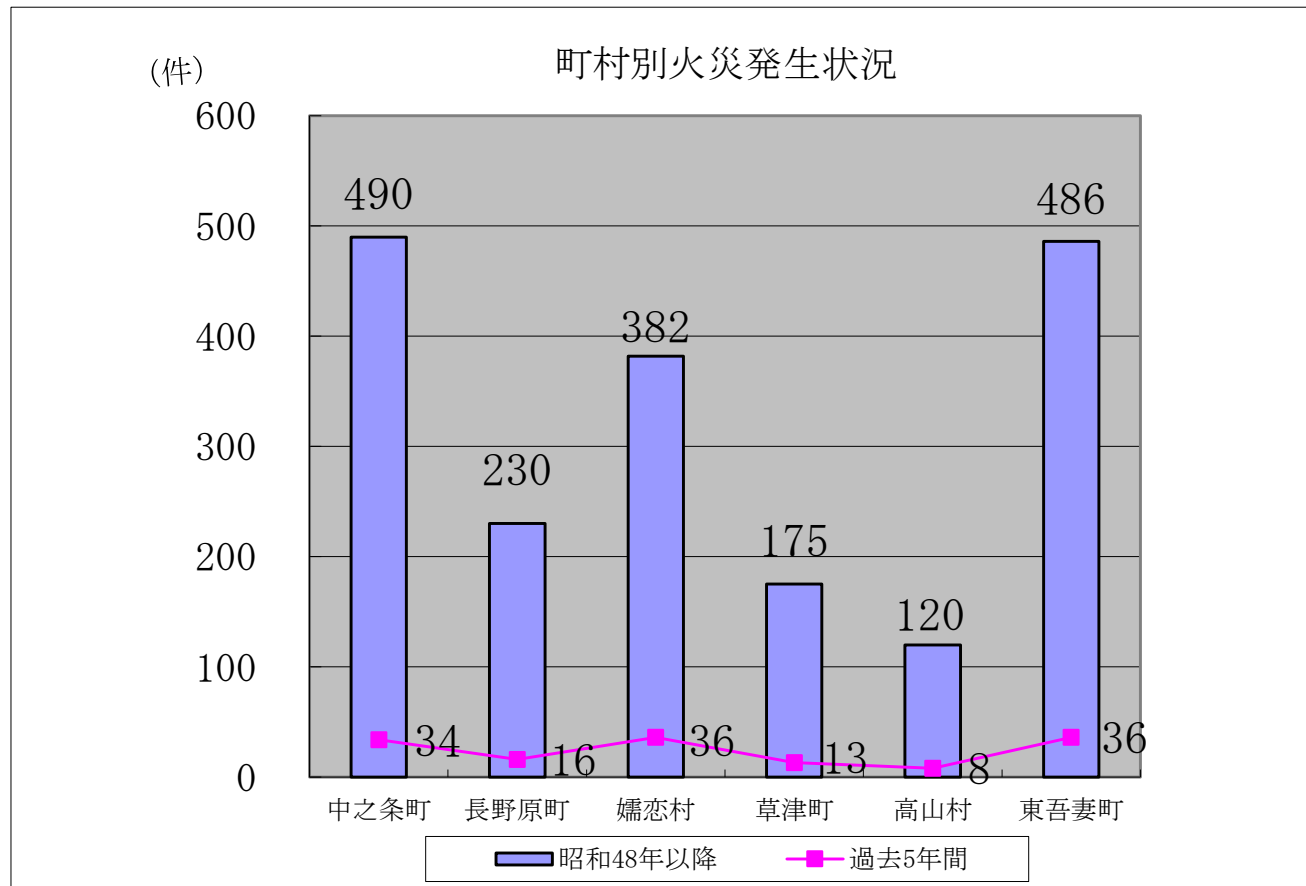
区 分 原 因 別	火 災 件 数	災 害 種 別				焼 損 棟 数			
		火 建 物	災 林 野	種 車 両	別 そ の 他	焼 全 焼	損 半 焼	棟 部 分 焼	数 ぼ や
たばこ									
こんろ	1	1						1	
かまど									
風呂かまど									
炉									
焼却炉	3	3				2	1	2	
ストーブ	2	2				1			1
こたつ									
ボイラー	1	1						1	
煙突・煙道	1	1						1	
排気管									
電気機器	1	1							1
電気装置									
電灯・電話等の配線	2	1			1				1
内燃機関									
配線器具	1	1							1
火あそび									
マッチ・ライター									
たき火									
溶接機・切断機									
灯 火									
衝突の火花									
取 灰	1	1						1	
火 入 れ									
放 火	1				1				
放火の疑い									
そ の 他	9	4	1	3	1	5		1	1
不 明 ・ 調 査 中	6	4			2	1		1	2
計	29	20	1	3	5	9	1	8	7

町村別火災発生状況

区 分		単位	中之条町	長野原町	嬬恋村	草津町	高山村	東吾妻町	合 計
火 災 件 数		件	13	3	4	1	2	6	29
火 災 種 別	建 物	〃	6	1	4	1	2	6	20
	林 野	〃	1						1
	車 両	〃	2	1					3
	そ の 他	〃	4	1					5
焼 損 棟 数		棟	10	1	4	1	2	7	25
焼 損 程 度	全 焼	〃	6		2			1	9
	半 焼	〃	1						1
	部 分 焼	〃	2	1	2			3	8
	ぼ や	〃	1			1	2	3	7
り 災 世 帯 数		世帯	2	1	2		1	2	8
程 度	全 損	〃	1		1				2
	半 損	〃							0
	小 損	〃	1	1	1		1	2	6
り 災 人 員		人	3	1	4		1	5	14
焼 損 面 積	建 物	床面積	m ²	958	220		1	31	1,212
		表面積	〃					24	24
	林 野 面 積		a	2					2
車 両 焼 損 台 数		台	4	1					5
死 者		人		1					1
負 傷 者		〃	2		1		1	1	5
損 害 額 合 計		千円	17,254	240	33,454		12	2,292	53,252
火 災 種 別	建 物	〃	16,135	10	33,454		12	2,292	51,903
	林 野	〃							0
	車 両	〃	1,119	230					1,349
	そ の 他	〃							0
出火率（1万人当り）			9.07	5.90	4.41	1.65	6.13	4.97	5.82

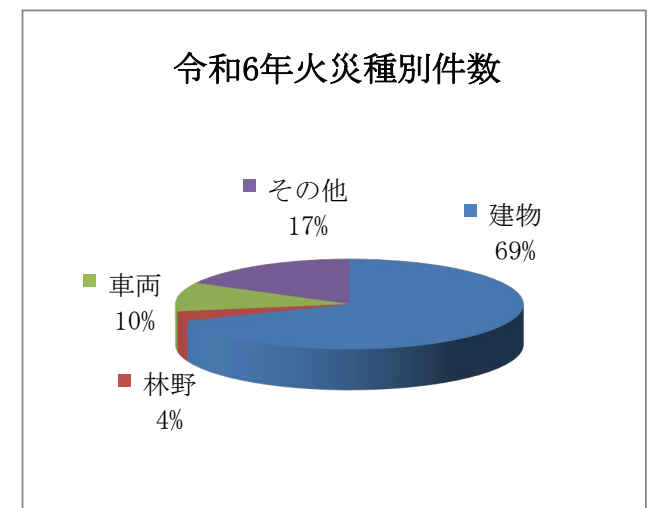
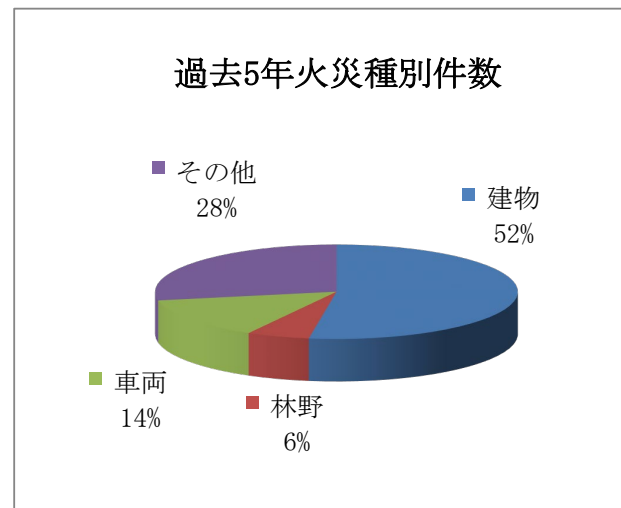
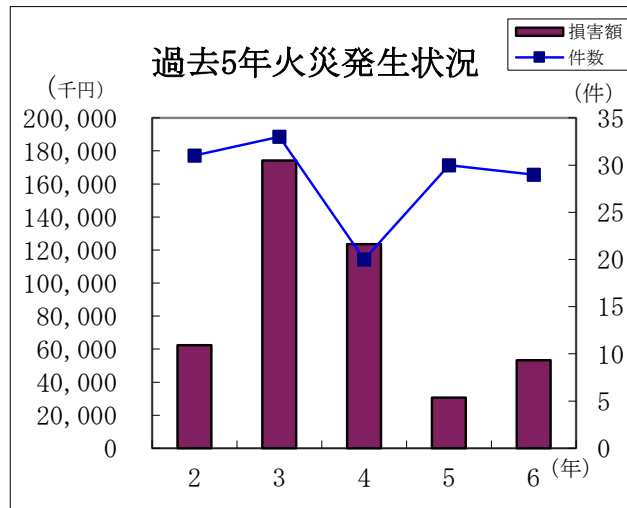
町 村 別 火 災 発 生 状 況

	中之条町	長野原町	嬭恋村	草津町	高山村	東吾妻町	合 計
昭和48年以降	490	230	382	175	120	486	1,883
過去5年間	34	16	36	13	8	36	143



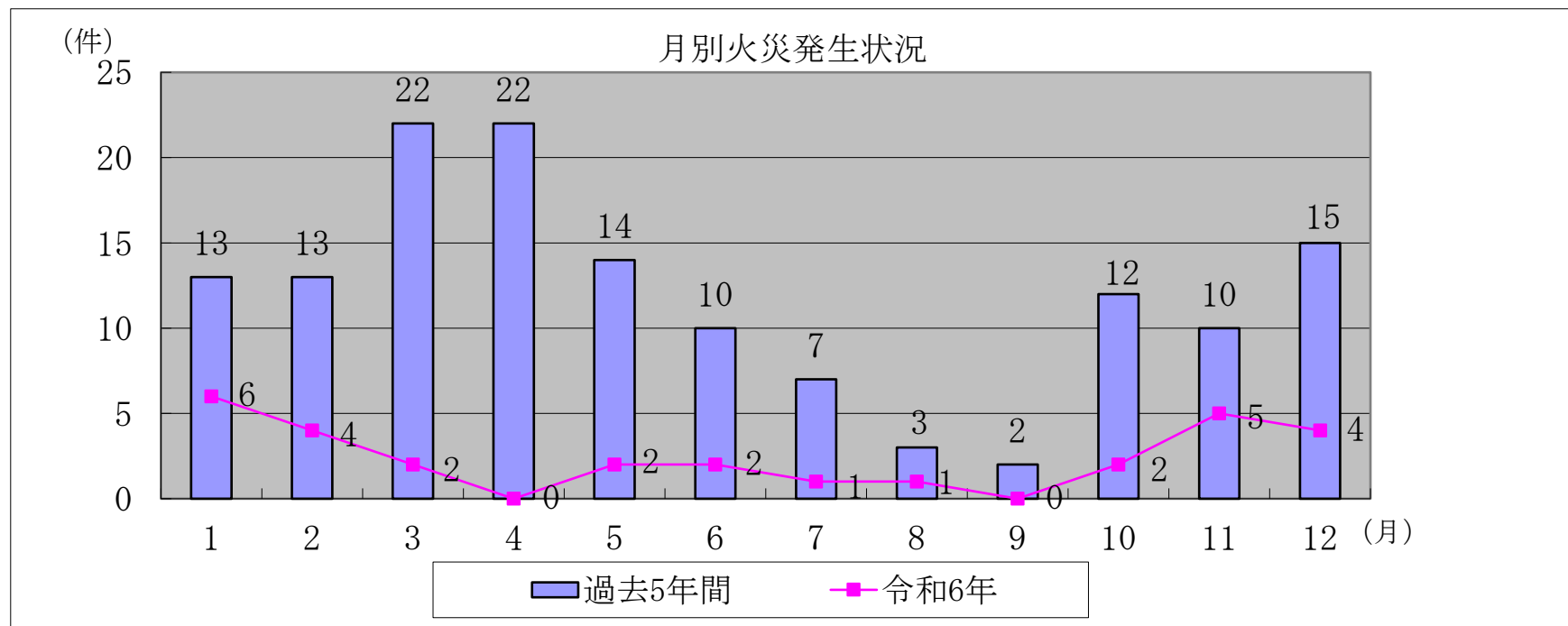
過去5年間の火災発生状況

区 分 年	火災 件数	損 害 額 (千 円)	種 別 (件 数)				建 物						林 野		車 両		そ の 他	死 傷 者		出火率
			建 物	林 野	車 両	その他	棟 数	焼損面積(㎡)		世 帯	人 員	損害額 (千円)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	台 数	損害額 (千円)	損害額 (千円)	死 者	負傷者	1万人当
								床面積	表面積											
令和2年	31	62,317	16	2	6	7	41	1,971	49	11	18	59,131	25	0	11	3,186	0	0	7	5.79
令和3年	33	174,125	18	3	2	10	32	2,784	79	11	24	173,765	131	0	4	30	330	1	6	6.29
令和4年	20	123,640	12	1	1	6	18	1,670	17	7	10	113,070	16	0	3	7,799	2,771	0	2	3.88
令和5年	30	30,609	9	1	8	12	19	718	115	9	16	26,016	15	0	3	4,593	0	0	4	5.93
令和6年	29	53,252	20	1	3	5	25	1,212	24	8	14	51,903	2	0	5	1,349	0	1	5	5.82
合 計	143	443,943	75	8	20	40	135	8,355	284	46	82	423,885	189	0	26	16,957	3,101	2	24	
平 均	28.6	88,788.6	15.0	1.6	4.0	8.0	27.0	1,671.0	56.8	9.2	16.4	84,777.0	37.8	0.0	5.2	3,391.4	620.2	0.4	4.8	5.54



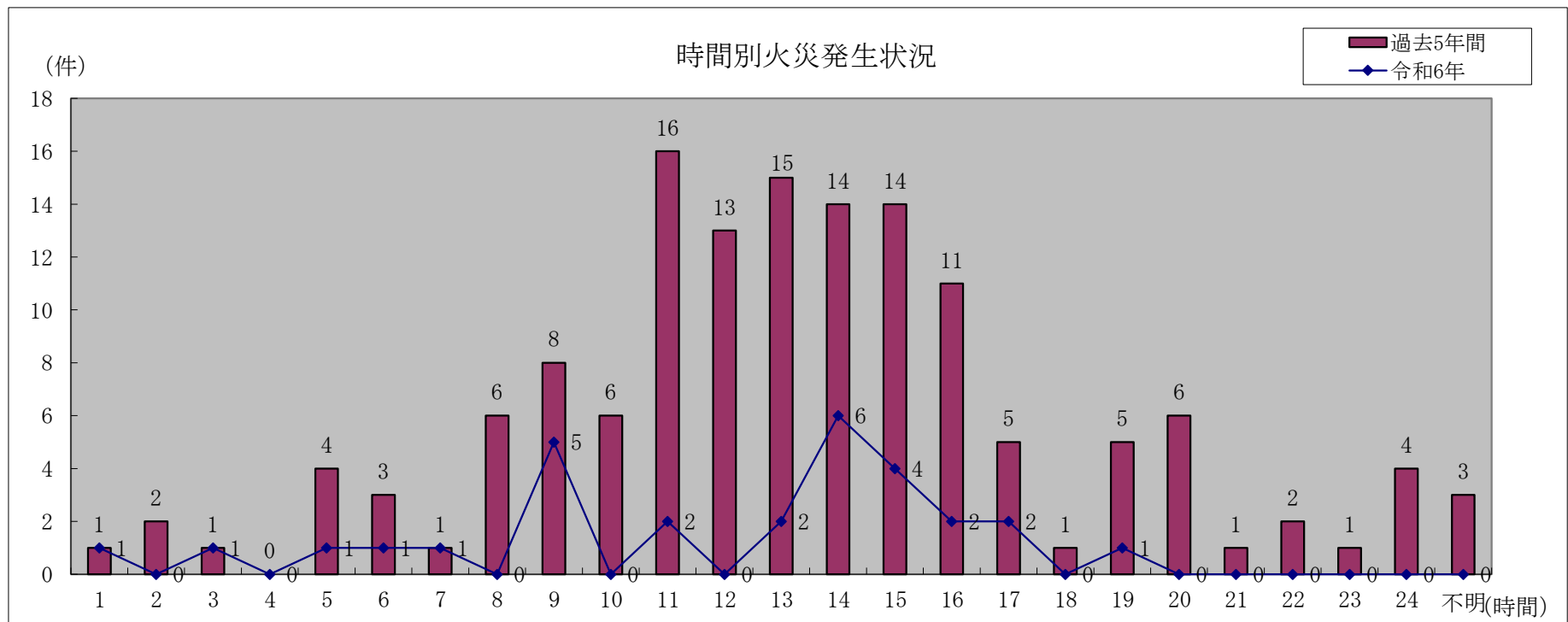
月 別 火 災 発 生 状 況

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
令和2年	2	3	4	4	2	1	2			6	2	5	31
令和3年	3	2	2	13	5	1		1	1	2	2	1	33
令和4年	1		4	2	3	4	1	1	1	1		2	20
令和5年	1	4	10	3	2	2	3			1	1	3	30
令和6年	6	4	2		2	2	1	1		2	5	4	29
合 計	13	13	22	22	14	10	7	3	2	12	10	15	143
平 均	2.6	2.6	4.4	4.4	2.8	2.0	1.4	0.6	0.4	2.4	2.0	3.0	28.6



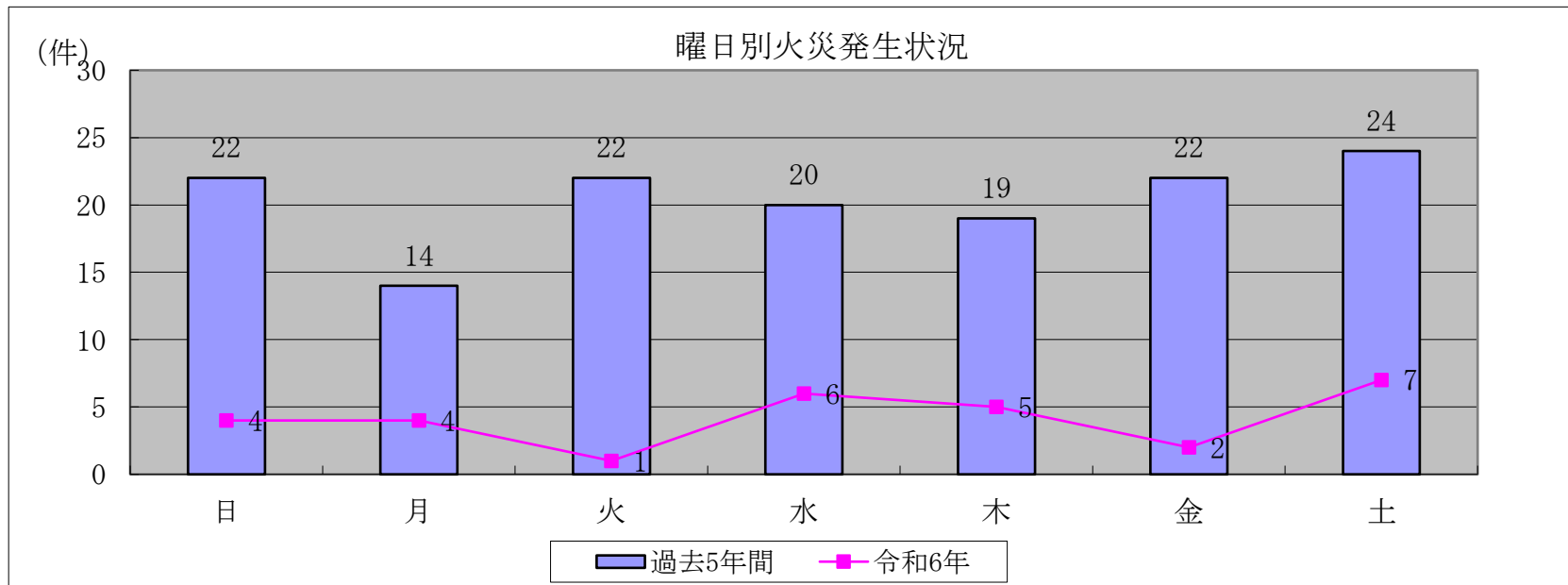
時間別火災発生状況

時間 年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	不明	合 計
令和2年					1	1		1	1	1	4	4	5	2	2	3			1	2	1		1		1	31
令和3年		1				1		1		2	3	4	4	2	3	4	2	1	2			1		2		33
令和4年		1			1			2			1	2	1	1	3	1	1			3		1		1	1	20
令和5年					1			2	2	3	6	3	3	3	2	1			1	1				1	1	30
令和6年	1		1		1	1	1		5		2		2	6	4	2	2		1							29
合 計	1	2	1	0	4	3	1	6	8	6	16	13	15	14	14	11	5	1	5	6	1	2	1	4	3	143
平 均	0.2	0.4	0.2	0.0	0.8	0.6	0.2	1.2	1.6	1.2	3.2	2.6	3.0	2.8	2.8	2.2	1.0	0.2	1.0	1.2	0.2	0.4	0.2	0.8	0.6	28.6



曜 日 別 火 災 発 生 状 況

年 \ 曜日	日	月	火	水	木	金	土	合 計
令和2年	7	1	6	5	4	6	2	31
令和3年	4	6	6	1	4	8	4	33
令和4年	4	1	3	4	2	1	5	20
令和5年	3	2	6	4	4	5	6	30
令和6年	4	4	1	6	5	2	7	29
合 計	22	14	22	20	19	22	24	143
平 均	4.4	2.8	4.4	4.0	3.8	4.4	4.8	28.6



町村消防水利調

(消防防災現況調より)

種 別 町 村 別	消 火 栓	防 火 水 槽				合 計
		1 0 0 m ³ 以 上	6 0 m ³ 以 上 1 0 0 m ³ 未 満	4 0 m ³ 以 上 6 0 m ³ 未 満	2 0 m ³ 以 上 4 0 m ³ 未 満	
中 之 条 町	304	1		305	107	717
長 野 原 町	228		2	67	14	311
婦 恋 村	133	4		123	10	270
草 津 町	211				45	256
高 山 村	135	24	65	14	9	247
東 吾 妻 町	260			294		554
合 計	1,271	29	67	803	185	2,355

火 災 予 防 運 動 標 語 一 覧

昭和 4 8 年度	隣にも声かけあってよい防火
4 9 年度	生活の一部にしよう火の点検
5 0 年度	幸せを明日につなぐ火の始末
5 1 年度	火災は人災 防ぐはあなた！
5 2 年度	使う火を消すまで離すな目と心
5 3 年度	それぞれの持ち場で生かせ火の用心
5 4 年度	これくらいと思う油断を火がねらう
5 5 年度	あなたです！火事を出すのも防ぐのも
5 6 年度	毎日が防火デーです ぼくの家
5 7 年度	火の用心 心で用心 目で用心
5 8 年度	点検は防火のはじまり締めくくり
5 9 年度	”あとで”より”いま”が大切 火の始末
6 0 年度	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」
6 1 年度	防火の大役 あなたが主役
6 2 年度	消えたかな！ 気になるあの火 もう一度
6 3 年度	その火 その時 すぐ始末
平成 元年度	おとなりに あげる安心 火の始末
2 年度	まず消そう 火への鈍感 無関心
3 年度	毎日が 火の元警報 発令中
4 年度	点検を重ねて築く ”火災ゼロ”
5 年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
6 年度	安心の 暮らしの中心 火の用心
7 年度	災害に 備えて日頃の 火の用心
8 年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
9 年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
1 0 年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火
1 1 年度	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
1 2 年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
1 3 年度	たしかめて。火を消してから 次のこと
1 4 年度	消す心 置いてください 火のそばに
1 5 年度	その油断 火から炎へ 災いへ
1 6 年度	火はけした？ いつも心に きいてみて
1 7 年度	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
1 8 年度	消さないで あなたの心の 注意の火
1 9 年度	火は見てる あなたが離れる その時を
2 0 年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする

平成 21 年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
22 年度	「消したかな」あなたを守る 合言葉
23 年度	消したはず 決めつけしないで もう一度
24 年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
25 年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
26 年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
27 年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
28 年度	消しましょう その火その時 その場所で
29 年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
30 年度	忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認
令和 元年度	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
2 年度	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
3 年度	おうち時間 家族で点検 火の始末
4 年度	お出かけは マスク戸締り 火の用心
5 年度	火を消して 不安を消して つなぐ未来
6 年度	守りたい 未来があるから 火の用心
7 年度	急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

救 助

令和6年救助概要

	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外									
出動件数			23	1		2				28	54
活動件数			7	1		2				19	29
出動人員	救助隊員		69	3		6				90	168
	消防隊員		45	2		6				63	116
	救急隊員		94	3		9				90	196
	消防団員										0
	計	0	0	208	8	0	21	0	0	243	480
活動人員	救助隊員		15	3		6				56	80
	消防隊員		13	2		6				40	61
	救急隊員		27	3		6				57	93
	消防団員										0
	計	0	0	55	8	0	18	0	0	153	234
出動車両	救助工作車		12	1		2				14	29
	消防ポンプ車		11							15	26
	屈折梯子車										0
	指令車		23	1		2				29	55
	救急車		31	1		3				30	65
	その他										0
	消防団車両										0
	計	0	0	77	3	0	7	0	0	88	175
活動車両	救助工作車		3	1		2				6	12
	消防ポンプ車		2							11	13
	屈折梯子車										0
	指令車		7	1		2				19	29
	救急車		9	1		2				19	31
	その他					1					1
	消防団車両										0
	計	0	0	21	3	0	7	0	0	55	86
発生場所	屋内(住宅含)					1				4	5
	道路		21								21
	水面			1						2	3
	山岳									8	8
	その他		2			1				14	17
	計	0	0	23	1	0	2	0	0	28	54
救助人員			10	1		2				20	33

過去5年間の救助活動状況

種 別 \ 年	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
火 災										
交 通 事 故	17	8	17	7	23	9	23	33	23	10
水 難 事 故	6	5	3	1	2	2	1	1	1	1
自 然 災 害										
機 械 に よ る 事 故	2	2	1	1			1	1	2	2
建 物 等 に よ る 事 故										
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故										
破 裂 事 故										
そ の 他	21	15	23	11	34	20	45	29	28	20
合 計	46	30	44	20	59	31	70	64	54	33

令和6年 消防防災ヘリコプター応援要請内容

種 別	火 災	救 助	救 急	災 害 応 急	そ の 他	合 計
件 数	0	8	0	0	0	8

件数	種 別	要請日時	要請場所	要請事故概要
1	救助	2月12日	草津町大字草津 白根山	雪上登山中に自分の居場所がわからなくなり救助要請。 自力で国道まで出られた為、防災ヘリコプターにあってはキャンセル。
		14時38分		
2	救助	3月27日	東吾妻町大字原町 東吾妻スポーツ広場付近	行方不明人搜索の為、吾妻警察より協力要請。 群馬県防災ヘリコプターにて救助し活動終了。
		8時39分		
3	救助	6月8日	嬭恋村大字鎌原 蛇骨岳	登山中に約20m滑落し救助要請。 埼玉県防災ヘリコプターにて救助し活動終了。
		12時50分		
4	救助	6月15日	嬭恋村大字鎌原 湯の丸登山道	体温低下で体動困難となり救助要請。 埼玉県防災ヘリコプターにて救助し活動終了。
		9時47分		
5	救助	7月23日	小諸市 小諸市黒斑山山頂付近	登山中に山頂付近で不整脈による救助要請。 長野県防災ヘリコプターにて救助し活動終了。
		10時28分		
6	救助	8月8日	嬭恋村大字門貝 熊野大橋付近山林	キノコ採取の為山林に入り、1名が5m滑落、助けようとしたもう1名も負傷し救助要請。 防災ヘリコプターが出動予定であったが地上隊で対応可能な為、キャンセル。
		15時50分		
7	救助	8月21日	嬭恋村大字鎌原 黒斑山登山道	登山道下山中、転倒、負傷し救助要請。 防災ヘリコプター要請も天候不良、小諸救助隊にて救助し活動終了。
		13時26分		
8	救助	10月13日	嬭恋村大字田代 四阿山山頂付近	山頂付近で首の痛みと立ち眩みを発症し体動困難となり救助要請。 群馬県防災ヘリコプターにて救助し活動終了。
		13時50分		

救 急

令和6年救急業務実施概要（1月～12月）

署別	種別 出場 人員数	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	全件数に 対する 署別割合	一日 当たり
												転院搬送	医師搬送	資機材 搬送	その他			
東 部 署	出場件数	10		2	47	8	1	121	1	4	476	161	5		4	840	21.8%	2.3
	搬送人員	2		2	45	7		108	1	3	425	160			1	754	22.4%	2.1
	人員割合%	0.27%	0.00%	0.27%	5.97%	0.93%	0.00%	14.32%	0.13%	0.40%	56.37%	21.22%	0.00%	0.00%	0.13%	100.00%		
中 之 条 分 署	出場件数			1	38	7	3	147	1	8	601	91			2	899	23.3%	2.5
	搬送人員				38	7	3	138	1	8	548	90				833	24.7%	2.3
	人員割合%	0.00%	0.00%	0.00%	4.56%	0.84%	0.36%	16.57%	0.12%	0.96%	65.79%	10.80%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		
西 部 署	出場件数	11			42	8	2	182	2	3	558	44	1		1	854	22.1%	2.3
	搬送人員	1			39	6	2	160		1	439	40				688	20.4%	1.9
	人員割合%	0.15%	0.00%	0.00%	5.67%	0.87%	0.29%	23.26%	0.00%	0.15%	63.81%	5.81%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		
長 野 原 分 署	出場件数				40	6	3	131		1	343	142	1		1	668	17.3%	1.8
	搬送人員				42	4	3	107			265	141				562	16.7%	1.5
	人員割合%	0.00%	0.00%	0.00%	7.47%	0.71%	0.53%	19.04%	0.00%	0.00%	47.15%	25.09%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		
嬬 恋 分 署	出場件数				26	8	3	172	1	2	360	22	1		4	599	15.5%	1.6
	搬送人員				21	8	3	160	1		320	20				533	15.8%	1.5
	人員割合%	0.00%	0.00%	0.00%	3.94%	1.50%	0.56%	30.02%	0.19%	0.00%	60.04%	3.75%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		
合 計	出場件数	21	0	3	193	37	12	753	5	18	2,338	460	8	0	12	3,860		10.6
	搬送人員	3	0	2	185	32	11	673	3	12	1,997	451	0	0	1	3,370		9.2
	人員割合%	0.09%	0.00%	0.06%	5.49%	0.95%	0.33%	19.97%	0.09%	0.36%	59.26%	13.38%	0.00%	0.00%	0.03%	100.00%		

町村別出場件数及び搬送人員

町 村 名	件数 人員	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 行 損 為	急 病	その他	合 計	町 村 別 割 合
中 之 条 町	件数	4			54	9	2	143		7	605	89	913	23.65%
	人員				49	8	2	133		6	531	84	813	24.12%
長 野 原 町	件数	2			25	5		86		2	213	178	511	13.24%
	人員	1			26	5		76			182	170	460	13.65%
嬬 恋 村	件数	6			32	9	6	178	2	2	409	19	663	17.18%
	人員				30	8	5	159	1		357	15	575	17.06%
草 津 町	件数	2			26	6	3	205	1	1	560	9	813	21.06%
	人員				32	5	3	171		1	427	8	647	19.20%
高 山 村	件数	1			7	1	1	27	1	4	100	1	143	3.70%
	人員	1			4	1	1	24	1	3	92		127	3.77%
東 吾 妻 町	件数	6		3	49	7		114	1	2	451	184	817	21.17%
	人員	1		2	44	5		110	1	2	408	175	748	22.20%
管 外	件数												0	
	人員												0	
合 計	件数	21	0	3	193	37	12	753	5	18	2,338	480	3,860	100%
	人員	3	0	2	185	32	11	673	3	12	1,997	452	3,370	100%

過去 5 年間の救急件数の推移

	令和 6 年	令和 5 年	令和 4 年	令和 3 年	令和 2 年
火 災	21	12	16	24	16
自 然 災 害					
水 難 事 故	3	1	2	4	6
交 通 事 故	193	199	169	185	187
労 働 災 害	37	37	40	43	42
運 動 競 技	12	15	11	5	5
一 般 負 傷	753	664	660	530	492
加 害	5	8	2	4	5
自 損 行 為	18	27	26	24	26
急 病	2, 338	2, 284	2, 128	1, 685	1, 665
そ の 他	480	434	441	435	442
合 計	3, 860	3, 681	3, 495	2, 939	2, 886

月別出場件数

種別 月別	火 災	自 災	然 害	水 事 難 故	交 通 故	労 災 働 害	運 動 技	一 般 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計	割 合 %
												転院搬送	医師搬送	資機材搬送	そ の 他		
1	4				14	6	1	68	1		220	34	2		1	351	9.09%
2	3				5	3		75		1	176	33				296	7.67%
3	1				5			65			168	32	1			272	7.05%
4					14	1	1	41		2	176	39			2	276	7.15%
5	1				17	4	1	43	2		183	55	1			307	7.95%
6	2				15		1	54			179	31	1		3	286	7.41%
7	1			2	25	2	3	62		2	202	44	1			344	8.91%
8	1				13	5	2	88		5	233	32	2		3	384	9.95%
9				1	14	4		62	1		189	42				313	8.11%
10	2				32	7	1	67	1	3	179	41			2	335	8.68%
11	5				25	3		67		2	186	42			1	331	8.58%
12	1				14	2	2	61		3	247	35				365	9.46%
合 計	21	0		3	193	37	12	753	5	18	2,338	460	8	0	12	3,860	100%

曜日別出場件数

種別 曜日	火 災	自 災	然 害	水 事 難 故	交 通 故	労 災 働 害	運 動 技	一 般 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計	割 合 %
												転院搬送	医師搬送	資機材搬送	そ の 他		
月	3				33	4	2	107	3		364	67	1		1	585	15.16%
火	1			1	29	10	1	116		1	365	68			2	594	15.39%
水	1				31	4	2	89	1	5	323	68			3	527	13.65%
木	4				25	2	1	95		5	319	74	3		2	530	13.73%
金	2			2	19	9		79		6	319	93	2			531	13.76%
土	4				27	4	2	138	1		309	59	1		4	549	14.22%
日	6				29	4	4	129		1	339	31	1			544	14.09%
合 計	21	0		3	193	37	12	753	5	18	2,338	460	8	0	12	3,860	100%

時間別出動件数

種別 時間	火 災	自 災	然 害	水 事 難 故	交 通 故	労 災 働 害	運 動 技	一 般 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計	割 合 %
												転院搬送	医師搬送	資機材搬送	そ の 他		
0 ～ 2					1			23		1	114	5			1	145	3.76%
2 ～ 4	2				3			14	1		98	2			3	123	3.19%
4 ～ 6	1				7	1		23		1	101	2			1	137	3.55%
6 ～ 8	1				12	1		62			217	6			3	302	7.82%
8 ～ 1 0	4				23	4	2	93	1	1	252	48	1			429	11.11%
1 0 ～ 1 2				1	41	9	3	104	1	3	267	111	3		1	544	14.09%
1 2 ～ 1 4	1				26	7		94	1	4	229	110	1		1	474	12.28%
1 4 ～ 1 6	6				34	9	4	91	1		243	78	3		2	471	12.20%
1 6 ～ 1 8	3				31	2	3	82		3	234	46				404	10.47%
1 8 ～ 2 0	2			2	9	1		83		5	267	23				392	10.16%
2 0 ～ 2 2	1				2	3		55			202	20				283	7.33%
2 2 ～ 2 4					4			29			114	9				156	4.04%
合 計	21		0	3	193	37	12	753	5	18	2,338	460	8	0	12	3,860	100%

事故種別・年齢区分・傷病程度別搬送人員

年齢区分	事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死 亡												0
	重 症												0
	中等症										1		1
	軽 症												0
	その他												0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
乳幼児	死 亡												0
	重 症										1		1
	中等症							8			11	2	21
	軽 症				5			29			46		80
	その他												0
	計	0	0	0	5	0	0	37	0	0	58	2	102
少年	死 亡												0
	重 症											1	1
	中等症				1		2	2		2	11	3	21
	軽 症				7		5	19			20	1	52
	その他												0
	計	0	0	0	8	0	7	21	0	2	31	5	74
成人	死 亡									1	6		7
	重 症				6	2		11			34	36	89
	中等症				20	16	2	67	1	6	194	70	376
	軽 症				71	9		98	1	1	265	5	450
	その他												0
	計	0	0	0	97	27	2	176	2	8	499	111	922
高齢者	死 亡			1	2			1			50		54
	重 症	1			8	2		32		1	133	85	262
	中等症	2		1	23	3		234		1	779	234	1,277
	軽 症				42		2	172	1		445	15	677
	その他										1		1
	計	3	0	2	75	5	2	439	1	2	1,408	334	2,271
合計	死 亡			1	2			1		1	56		61
	重 症	1			14	4		43		1	168	122	353
	中等症	2		1	44	19	4	311	1	9	996	309	1,696
	軽 症				125	9	7	318	2	1	776	21	1,259
	その他										1		1
	計	3	0	2	185	32	11	673	3	12	1,997	452	3,370

※年齢区分について

新生児・・0才

乳幼児・・0才以上満7才未満

少年・・満7才以上満18才未満

成人・・満18才以上満65才未満

高齢者・・満65才以上

傷病者の事故種別居住地別調

事故種別 居住地	県内居住者								県外 居住者	合 計
	郡内居住者							郡外 居住者		
	中之条町	長野原町	嬬恋村	草津町	高山村	東吾妻町	小 計			
火 災				2		1	3			3
自 然 災 害							0			0
水 難 事 故						1	1		1	2
交 通 事 故	21	11	14	9	7	18	80	45	60	185
労 働 災 害	5	1	5	5	1	2	19	9	4	32
運 動 競 技	1			1			2	2	7	11
一 般 負 傷	111	41	65	61	16	92	386	41	244	671
加 害						1	1		2	3
自 損 行 為	4		1		3	2	10	1	1	12
急 病	467	142	288	225	88	381	1,591	71	334	1,996
そ の 他	93	52	72	67	7	90	381	40	36	457
合 計	702	247	445	368	122	586	2,470	209	688	3,367

普通救命講習管轄別受講者数

管轄別 区分	東部消防署	中之条分署	西部消防署	長野原分署	嬭恋分署	計
新規受講者	106	113	68	49	39	375
再受講者	24	29	3	10	9	75
計	130	142	71	59	48	450

救急医療情報サービス問い合わせ件数

科別 月別	内科	小児科	外科	脳外科	産婦人科	整形外科	泌尿器科	耳鼻科	眼科	精神科	皮膚科	歯科	その他	計
1	8	15	4	2		6		1	1					37
2	14	6	5	2				3	1					31
3	7	5	3	2		2	1		1			1		22
4	4	7	8	1		2	1	1						24
5	9	16	3	1		2		2						33
6	10	6	3	2		2			1	1			1	26
7	23	21	6			6							3	59
8	26	17	15	1	1	4	2	1	1				5	73
9	12	3	6	1		1	1	1	1		1			27
10	8	7	3	1	1	4	1	1			2		2	30
11	4	5	2		1	2			1	1	1		1	18
12	18	9	2			6	1		2	1			1	40
計	143	117	60	13	3	37	7	10	9	3	4	1	13	420

通 信

指令管制施設（たかさき消防共同指令センター）

指令管制業務は、災害通報の119受信に始まり、出動指令、通信統制、災害情報の収集伝達、災害活動の終了に至るまでの一連の業務であり、人命の救護、災害に係る被害の軽減等、消防部隊を効率的に運用するための業務です。

「たかさき消防共同指令センター」は、これらの業務を共同運用することで、業務の効率化及び災害情報の一元化を図り、消防救急デジタル無線及び消防指令システムを有効に活用して、様々な災害事案に迅速対処し、被害の軽減を図ることを目的としています。

○消防指令業務の共同運用に係る経過

平成 17 年 7 月

- ・「消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用の推進について」消防庁次長通知

平成 17 年 9 月

- ・群馬県が「群馬県消防力強化推進協議会」に「消防救急無線整備・運用部会」を設置

平成 19 年 3 月

- ・「消防救急無線のデジタル化に係る無線方式等について」消防庁消防・救急課長、防災情報室長通知
- ・群馬県消防力強化推進協議会が「消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用の推進について」を取りまとめ
- ・群馬県が「消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用の推進について（群馬県整備計画）」を消防庁へ提出

平成 21 年 4 月

- ・群馬県内 10 消防本部が「消防救急無線共同整備等推進委員会」を設置

平成 22 年 4 月

- ・「消防救急デジタル無線に係る『県内の広域化・共同化に係る全体計画』及び『各消防本部の年次整備計画』の作成等に関する留意事項について」消防庁防災情報室事務連絡

平成 23 年 11 月

- ・高崎市等広域消防局、利根沼田広域市町村圏振興整備組合消防本部、渋川広域消防本部、多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部、富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合消防本部及び吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部の 6 消防本部が「消防救急無線共同整備等推進委員会」を継続

平成 24 年 12 月

- ・群馬県が「消防救急デジタル無線に係る群馬県内の広域化・共同化に係る全体計画」を策定し消防庁へ提出

平成 25 年 7 月

- ・「消防救急無線共同整備等推進委員会」が消防救急無線デジタル化整備に係る整備工事を実施
- ・「消防救急無線共同整備等推進委員会」が指令センター整備に係る実施設計を実施

平成 26 年 7 月

- ・「消防救急無線共同整備等推進委員会」が指令センター整備に係る整備工事を実施

平成 27 年 4 月

- ・「高崎市・安中市消防組合ほか 5 一部事務組合消防指令事務協議会」の設置

平成 27 年 6 月

- ・「高崎市等広域消防局」が新指令システムに切替え

平成 27 年 9 月

- ・ 6 消防本部から指令センター職員が派遣され指令係が稼働開始

平成 27 年 10 月

- ・「渋川広域消防本部」、「利根沼田広域市町村圏振興整備組合消防本部」が 119 番回線を指令センターに切替え

平成 27 年 11 月

- ・「富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合消防本部」、「多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部」が 119 番回線を指令センターに切替え

平成 27 年 12 月

- ・「吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部」が 119 番回線を指令センターに切替え

平成 28 年 3 月

- ・「たかさき消防共同指令センター」開所記念式典
- ・「消防救急無線共同整備等推進委員会」を解散

平成 28 年 4 月

- ・「たかさき消防共同指令センター」運用開始

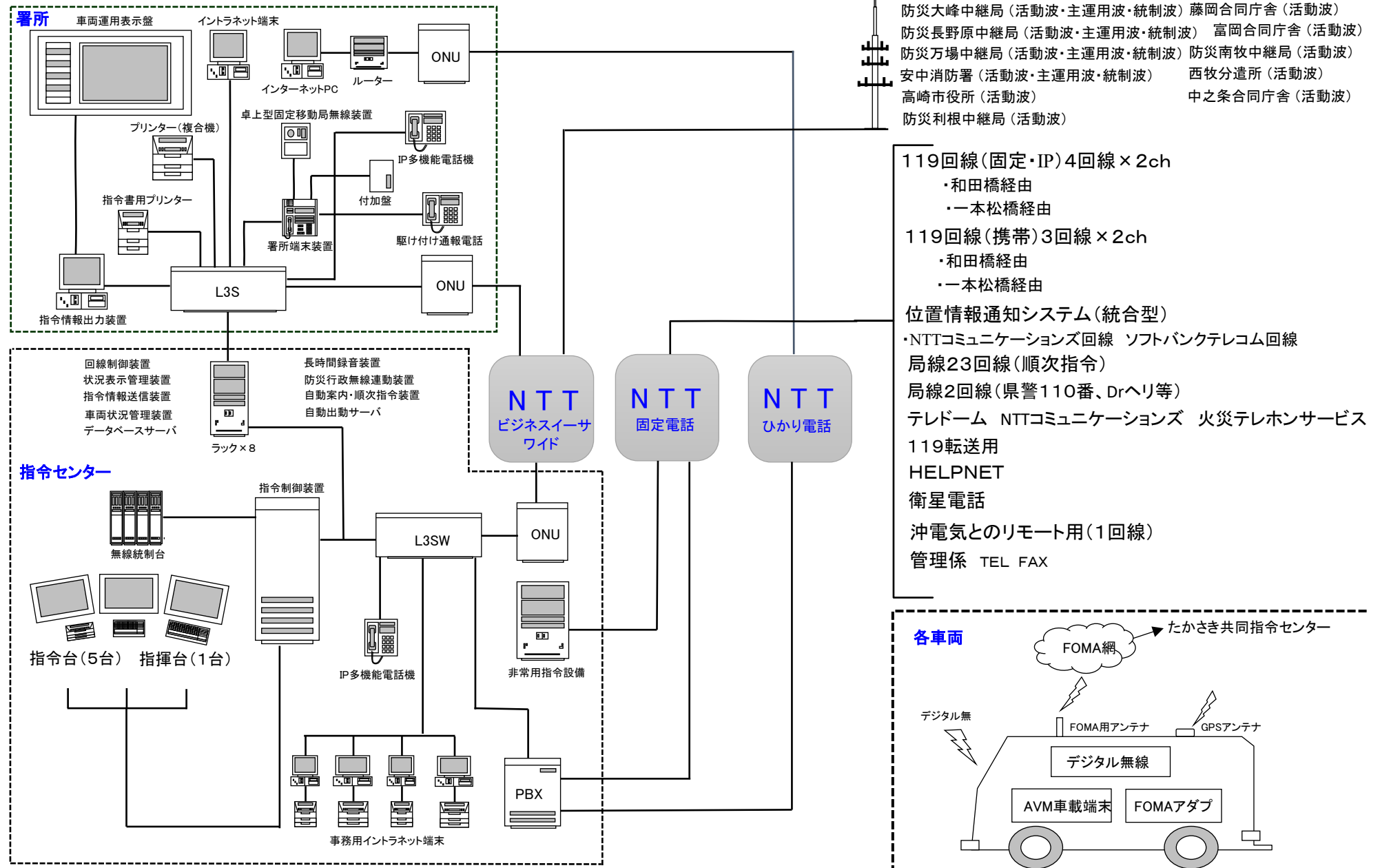
※協議会・・・地方自治法の規定に基づき、普通地方公共団体は、事務の一部を共同して管理・執行するため、協議により規約を定めて協議会を設けることができる。規約の協議について関係地方公共団体の議会の議決を要する。（連絡調整協議会を除く。）
協議会が行う事務の管理・執行は、関係普通地方公共団体の執行機関が管理・執行したものであるものとしての効力を有する。

○ 1 1 9 番災害通報等受信状況

区 分	令和 6 年
たかさき消防共同指令センター 受信件数	63,335 件
うち 吾妻広域消防本部 受信件数	5,481 件
割 合	8.7 %

※各種問い合わせ、通報訓練、回線試験等含む。

たかさき消防共同指令センター システム構成図



デジタル消防無線配置一覧表

(1) 基地局

呼出名称	周波数
しょうぼうあがつまあかぎ	共通波（主運用波・統制波）
しょうぼうあがつまおおみね	共通波（主運用波・統制波）
しょうぼうあがつまなかのじょうごうちょう	活動波
しょうぼうあがつまながのはら	活動波、共通波（主運用波・統制波）
しょうぼうあがつまもしろうがんがさわとんねる	活動波、共通波（主運用波）

(2) 陸上移動局

所属	呼出名称	用途	所属	呼出名称	用途
本部	あがつまれんらく 1	車載型	西部消防署	あがつませいぶしょ 7 0 3	卓上型
	あがつまはんそう 1			あがつませいぶしき 1	車載型
	あがつまよぼう 1			あがつませいぶしざい 1	
	あがつまよぼう 2			あがつませいぶはしご 1	
	あがつまきゅうきゅう 1			あがつませいぶきゅうじょ 1	
	あがつま 1 0 1	携帯型		あがつませいぶぼんぷ 1	
	あがつま 1 0 2			あがつませいぶきゅうきゅう 1	
	あがつま 1 0 3			あがつませいぶきゅうきゅう 2	
	あがつま 1 0 4			あがつませいぶ 1 0 1	携帯型
	あがつま 1 0 5			あがつませいぶ 1 0 2	
東部消防署	あがつまとうぶしょ 7 0 1	卓上型	長野原分署	あがつませいぶ 1 0 3	
	あがつまとうぶしき 1	車載型		あがつませいぶ 1 0 4	
	あがつまとうぶぼんぷ 1			あがつませいぶ 1 0 5	
	あがつまとうぶぼんぷ 2			あがつませいぶ 1 0 6	
	あがつまとうぶきゅうじょ 1			あがつませいぶ 1 0 7	
	あがつまとうぶしざい 1			あがつませいぶ 1 0 8	
	あがつまとうぶきゅうきゅう 1			あがつませいぶ 1 0 9	
	あがつまとうぶきゅうきゅう 2			あがつませいぶ 1 1 0	
	あがつまとうぶ 1 0 1	携帯型	嬬恋分署	あがつまながのはらぶんしょ 7 0 4	卓上型
	あがつまとうぶ 1 0 2			あがつまながのはらしれい 1	車載型
	あがつまとうぶ 1 0 3			あがつまながのはらぼんぷ 1	
	あがつまとうぶ 1 0 4			あがつまながのはらきゅうきゅう 1	
	あがつまとうぶ 1 0 5			あがつまながのはら 1 0 1	携帯型
	あがつまとうぶ 1 0 6			あがつまながのはら 1 0 2	
	あがつまとうぶ 1 0 7			あがつまながのはら 1 0 3	
	あがつまとうぶ 1 0 8			あがつまながのはら 1 0 4	
	あがつまとうぶ 1 0 9			あがつまながのはら 1 0 5	
	あがつまとうぶ 1 1 0			あがつまつまごいぶんしょ 7 0 5	卓上型
中之条分署	あがつまなかのじょうぶんしょ 7 0 2	卓上型		あがつまつまごいしれい 1	車載型
	あがつまなかのじょうしれい 1	車載型		あがつまつまごいぼんぷ 1	
	あがつまなかのじょうぼんぷ 1			あがつまつまごいきゅうきゅう 1	
	あがつまなかのじょうきゅうきゅう 1			あがつまつまごい 1 0 1	携帯型
	あがつまなかのじょう 1 0 1	携帯型		あがつまつまごい 1 0 2	
	あがつまなかのじょう 1 0 2			あがつまつまごい 1 0 3	
	あがつまなかのじょう 1 0 3			あがつまつまごい 1 0 4	
	あがつまなかのじょう 1 0 4			あがつまつまごい 1 0 5	
	あがつまなかのじょう 1 0 5				

消防団・消防関係団体

消防団調（令和7年度）

令和7年4月1日

町村名	団 長 名	分 団 数	定 員	実 員	平均年齢	普 通 ポ ン プ 自 動 車 数 (台)	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車 (台)	その他の 車 両
中之条町	木 暮 則 芳	5	298	265	36.7	10	11	3
長野原町	豊 田 幹 雄	8	185	112	34.4	8	2	2
嬭 恋 村	橋 詰 元 良	10	300	222	32.3	5	7	4
草 津 町	町 田 真 一	6	150	119	40.7	5	2	2
高 山 村	※ 後 藤 英 樹	4	122	115	35.6	4	4	2
東吾妻町	平 形 幸 治	6	333	278	37.9	10	6	2
合 計		39	1,388	1,111	36.3	42	32	15

(※は群馬県消防協会吾妻支部長)

(中之条町普通ポンプ自動車10台のうち2台は水槽付消防ポンプ自動車)

(高山村普通ポンプ自動車4台のうち1台は水槽付消防ポンプ自動車)

幼年消防クラブ等結成状況

1. 幼年消防クラブ

令和7年4月1日

名 称	結成年月日	クラブ員数
あづまこども園幼年消防クラブ	昭和62年 3月20日	20 人
おおたこども園幼年消防クラブ	平成31年 4月 1日	29 人
はらまちこども園幼年消防クラブ	平成31年 4月 1日	63 人
いわしまこども園幼年消防クラブ	平成31年 4月 1日	12 人
さかうえこども園幼年消防クラブ	平成31年 4月 1日	13 人
たかやまこども園幼年消防クラブ	平成 3年 6月 1日	56 人
中之条幼稚園幼年消防クラブ	平成 6年 6月 1日	29 人
沢田幼稚園幼年消防クラブ	平成 6年 6月 1日	19 人
六合こども園幼年消防クラブ	平成22年10月24日	8 人
計		249 人

2. 婦人防火クラブ

令和7年4月1日

名 称	結成年月日	クラブ員数
婦恋村婦人消防隊	昭和39年12月12日	190 人
計		190 人

消 防 年 報

令 和 6 年 度 版
令 和 7 年 9 月 発 行

発 行 吾妻広域消防本部
〒377-0805
群馬県吾妻郡東吾妻町大字植栗 1174-1
TEL 0279-68-0119 (代)
FAX 0279-68-5080